

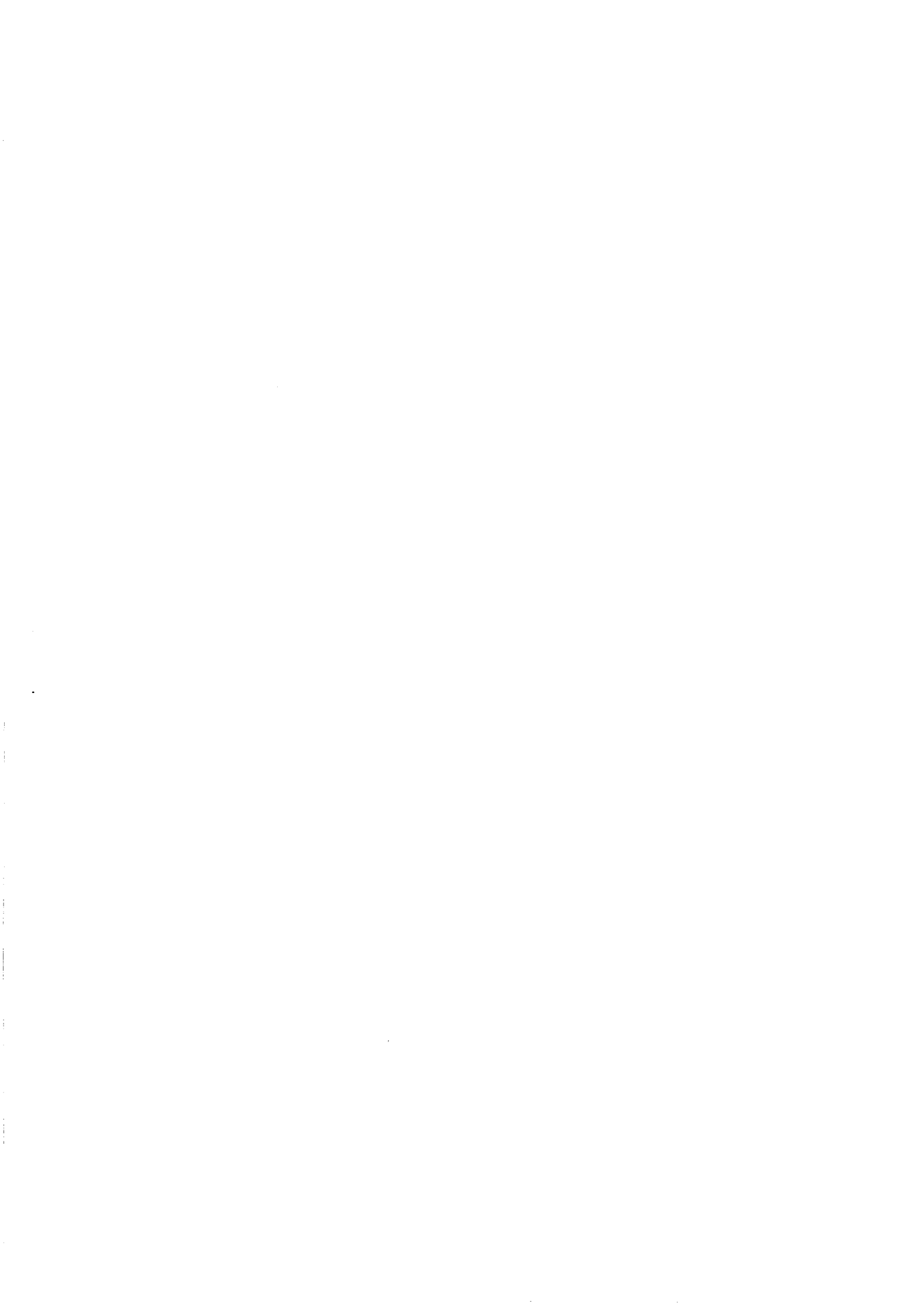
内閣参質一五九第三五号

平成十六年七月二十七日

内閣総理大臣 小泉純一郎

参議院議長 倉田寛之殿

参議院議員谷博之君提出鉛弾の全面禁止に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。



参議院議員谷博之君提出鉛弾の全面禁止に関する質問に対する答弁書

一について

環境省（平成十三年一月五日以前は環境庁。以下同じ。）において、鳥類の鉛中毒の防止に関してこれまで講じられた施策は、別表第一のとおりであり、鳥類の鉛中毒防止に関する施策を実施するために要した経費は別表第二のとおりである。

二について

環境省において情報収集を行った結果によれば、全国の都道府県及び北海道内の各市町村において、鳥類の鉛中毒の防止に関して平成元年以後講じられた施策は別表第三のとおりである。

三について

環境省においては、狩猟のための水辺域における鉛製散弾の使用については、非鉛弾の普及状況等を勘案しつつ、しかるべき時期に全域で禁止することとしているところである。水辺域における鉛製散弾の使用禁止に関しては、狩猟者が非鉛弾の使用に慣れていないこと及び非鉛弾の製造・供給体制が整っていないこと等の課題があると認識しており、関係者の理解を得て非鉛弾の普及を図る必要があること等から、

現段階で具体的なスケジュール及びそのための予算をお示しすることは困難であるが、これが早期に実現するよう努めてまいりたい。

なお、水辺域全域における鉛製散弾の使用の禁止に至るまでの当面の措置として、各都道府県において、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成十四年法律第八十八号。以下「新法」という。）による改正前の鳥獣保護及狩猟ニ関スル法律（大正七年法律第三十二号）第一条ノ五第五項に基づく狩猟鳥獣の捕獲制限として鉛散弾規制地域を指定したり（この指定は、新法施行後も効力を有している。）、新法第十五条第一項に基づき鉛製散弾の使用を禁止する指定猟法禁止区域を指定する措置を行っている。その結果、各都道府県において、鉛製散弾の使用が禁止される地域・区域として、平成十六年五月現在、全国で約百四十か所、約七万八千ヘクタールが指定されている。さらに、環境省においては、各都道府県に対し、この区域の拡大を要請しているところである。

また、北海道内において鉛製銃弾が原因と見られる猛禽類きんの鉛中毒が発生していることから、北海道においては、エゾシカ猟における鉛製銃弾の使用を禁止しているものと承知している。北海道内以外において、今のところ猛禽類の鉛中毒は報告されていないが、環境省において引き続き情報収集を行ってまいり

たい。

その他、狩猟において鉛弾から非鉛弾（鉛を含むが、鳥獣の捕獲に当たっては、鉛が暴露しない構造・素材の銃弾を含む。以下、三についてで同じ。）への使用の切替えを進めることは、鳥獣の保護を図る上で重要な課題と認識しているところであるが、関係者の理解を得て非鉛弾を普及させることが必要であることから、引き続き狩猟者への情報提供及び関係団体への申入れ等の取組を着実に進めてまいりたい。

#### 四について

新法第七条の特定鳥獣保護管理計画に基づく個体数調整のための捕獲の許可を新法第九条第一項に基づき得た者は、新法第十二条第四項又は第十五条第四項の規定により、鉛散弾規制地域又は鉛弾に係る指定猟法禁止区域にあっても、鳥獣の捕獲をすることができるとされているが、鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針（平成十四年環境省告示第八十六号）において、環境大臣はこれらの場合においても鉛製銃弾を使用した捕獲は原則として許可しない旨定められている。また、同指針においては、猛禽類の鉛中毒を防止するために、鳥獣の捕獲に当たっては鉛が暴露する構造・素材の銃弾は使用しないよう努めることが、併せて定められているところである。都道府県においても、これらを踏まえた

対応がとられているものと認識している。

なお、環境省が昭和六十二年度から都道府県等に対して実施している土壌汚染の状況についてのアンケートによると、射撃場敷地内以外の場所において、鉛製散弾に起因する鉛について、土壌の汚染に係る環境基準について（平成三年環境庁告示第四十六号）に示された環境基準（以下「土壌環境基準」という。）を超える測定値が認められたことはない。

#### 五について

銃砲刀剣類所持等取締法（昭和三十三年法律第六号）第九条の二第一項の規定に基づいて都道府県公安委員会に指定されている射撃場（以下「指定射撃場」という。）は、平成十六年六月十六日現在、全国で四百六十九か所ある。

なお、この指定は銃砲の種類ごとに行われるものであり、同一の射撃場で異なる種類の銃砲に係る指定を重複して受けている場合もあるが、ここではこれを一か所として数えている。

#### 六について

お尋ねの「指定の別」とは、指定に係る銃砲の種類を指すものと考えますが、平成十六年六月十六日現在

の指定射撃場の指定者、名称、所在地、指定に係る銃砲の種類、管理者、面積及び平成十五年度の利用者数は、別表第四のとおりである。ただし、お尋ねの「管理者」については、個人に関する情報であること等にかんがみ、自衛隊及び警察が管理している指定射撃場の管理者の職名のみをお答えしている。また、面積及び利用者数については、自衛隊及び警察が管理している指定射撃場のもの以外は把握していない。なお、お尋ねの「発射数」については、自衛隊及び警察が管理している指定射撃場以外における発射数は把握しておらず、また、自衛隊及び警察が管理している指定射撃場における発射数については、訓練等の頻度を明らかにすることにより、練度が明らかになるおそれがあることから、答弁を差し控えたい。

七について

平成十六年六月十六日現在の指定射撃場ではない自衛隊、海上保安庁及び警察が管理している射撃場（自衛隊の演習場等を含み、十についてでお答えする「試射場」を除く。以下同じ。）の数は、自衛隊については百七か所、海上保安庁については三か所、警察については五十三か所であり、その所在する都道府県、名称、所在地、管理者、面積並びに平成十五年度の利用者数及び発射数は、別表第五のとおりである。ただし、お尋ねの「管理者」については、個人に関する情報であること等にかんがみ、管理者の職名

のみをお答えしている。なお、自衛隊が管理している射撃場における発射数のうち自衛隊の教育訓練に関するもの並びに海上保安庁及び警察が管理している射撃場における発射数については、訓練等の頻度を明らかにすることにより、練度が明らかになるおそれがあることから、答弁を差し控えたい。

八について

自衛隊、海上保安庁及び警察がそれぞれ年間に使用する鉛を含む銃弾の量（平成十一年度から平成十五年まで）は別表第六のとおりである。

九について

自衛隊が年間に使用する鉛を含む砲弾の量（平成十一年度から平成十五年度まで）は別表第七のとおりである。なお、海上保安庁においては鉛を含む砲弾を保有していない。

十について

お尋ねの「試射場」とは、試験若しくは研究のため銃砲を所持する国若しくは地方公共団体の職員若しくは銃砲の所持の許可を受けた者又は武器製造事業者その他の武器等製造法（昭和二十八年法律第四百十五号）第四条に該当する者が、その所持に係る銃砲を用いて行う射撃の用に供される施設を指すものと考え



えるが、平成十六年六月十六日現在、自衛隊及び警察が管理している当該施設の数及び銃砲の所持又は武器の製造の許可に当たり把握した当該施設の数の合計は、六十五か所であり、その所在する都道府県、名称及び管理者は、別表第八のとおりである。ただし、お尋ねの「管理者」については、個人に関する情報であること等にかんがみ、自衛隊及び警察が管理している当該施設の管理者の職名のみをお答えしている。

十一について

福岡県、千葉県、埼玉県等の県営射撃場における鉛汚染が発覚したことを受けて、環境省が調査を行ったという事実はない。

十二について

自衛隊が管理している射撃場等のうち、表流水が河川等の公共用水域に流出している射撃場等については、当該射撃場等が存する自衛隊施設の境界部において、鉛に係る水質調査を実施しているところであり、平成十五年度における鉛に係る水質調査の測定値は、水質汚濁に係る環境基準について（昭和四十六年環境庁告示第五十九号）に示された環境基準（以下「水質環境基準」という。）を下回っている。

海上保安庁及び警察が現在管理している射撃場等において鉛汚染が発生した事例は承知していない。

その他、環境省が都道府県等に対して実施している前記アンケートによれば、平成十二年度及び平成十三年度において、千葉県射撃場（千葉市原市）、埼玉県長瀨総合射撃場（埼玉県秩父郡長瀨町）、富山県福光射撃場（富山県西砺波郡福光町）、福井県立クレイ射撃場（福井県勝山市）、警察学校射撃場跡地（岐阜県岐阜市）、多治見市射撃場（岐阜県多治見市）、兵庫県警射撃場跡地（兵庫県神戸市）、福岡県立総合射撃場（福岡県筑紫野市）及び自衛隊桜谷射撃場（福岡県筑紫野市）の九か所の射撃場等で鉛に係る土壌環境基準を超える測定値が認められたものと承知している。

### 十三について

自衛隊が管理している射撃場等のうち、表流水が河川等の公共用水域に流出している射撃場等については、当該射撃場等が存する自衛隊施設の境界部において、鉛に係る水質調査を実施しているところであり、今後とも、鉛に係る水質調査を実施する予定である。表流水が河川等の公共用水域へ流出していない射撃場等及び屋内の射撃場等は、河川等の公共用水域に影響を及ぼす可能性がほとんどないと考えられることから、現在のところ、鉛に係る水質調査を実施する予定はない。なお、自衛隊の射撃場等において射撃訓練を行う際には、射撃部隊が射撃後に鉛弾の回収を行っている上、射撃場等の定期整備の際にも鉛弾の回

収を行っているところである。

海上保安庁は、射撃場を三か所管理している。そのうち一か所は屋内の射撃場であり、かつ、射撃後の弾丸をすべて回収できる構造となっており、鉛汚染が発生するおそれはないと考えられるため、土壌調査を行う予定はない。また、その余の二か所のうち、海上保安学校（京都府舞鶴市）については、現在、土壌調査を実施しているところであり、海上保安大学校（広島県呉市）については年内に土壌調査を行う予定である。

警察が現在管理している射撃場等の鉛汚染の状況調査としては、平成十五年六月に江津警察署簡易射撃場（島根県江津市）及び西郷警察署簡易射撃場（島根県隠岐郡西郷町）の二か所の射撃場において水質調査及び土壌調査を実施し、いずれも鉛に係る水質環境基準及び土壌環境基準を下回る測定値であった事例を承知している。警察においては、射撃場等の鉛弾を回収して、その再利用、売却又は処分委託を行っており、射撃場の新設、改修に際しては、より容易に鉛弾が回収できる構造のバックストップ等の採用を開始しているところでもあるが、今後とも、必要に応じて調査を行っていく予定である。

環境省においても、前記のとおり、都道府県等に対するアンケートを行って鉛による土壌汚染状況につ

いての情報収集を実施している。また、平成十五年二月から土壤汚染対策法（平成十四年法律第五十三号）が施行されており、都道府県知事等は、同法第四条第一項に基づき、射撃場等に限らず、鉛による土壤汚染により人の健康に係る被害が生ずるおそれがある土地について、当該土地の所有者等に対し、土壤汚染状況の調査を命ずることができるとされている。

#### 十四について

環境省において前記アンケートにより鉛に係る土壤環境基準を超える測定値が認められたものと承知している射撃場等のうち、都道府県営射撃場の汚染土壌対策の実施状況等は、別表第九のとおりであると承知している。なお、都道府県営射撃場以外の射撃場等における汚染土壌対策の実施状況等については、別表第十のとおりであると承知している。

#### 十五について

環境省において前記アンケートにより鉛に係る土壤環境基準を超える測定値が認められたものと承知している射撃場等については、それぞれの射撃場等において、射撃場等及びその周辺の地域の鉛汚染を防止するために必要な鉛弾の回収等の対策が行われていること、また、非鉛弾については、目的に応じた威力

を確保できるかどうか等の技術的な検討課題が存在することから、直ちにすべての鉛弾を全面的に禁止することは困難であると考えている。

十六について

一般的には鉛汚染の除去・浄化費用は汚染原因者が負担すべきものと考えるが、射撃場の利用者にその費用を負担させるかどうかについては、必要に応じ、それぞれの射撃場において判断されるべきものと考えている。

十七について

お尋ねの共済事業は、社団法人大日本猟友会が、狩猟等の行為中に発生した人身に対する事故等について、相互扶助の理念に即し、構成員の生活の安定と福祉の増進を図ることを目的として、運営を行っているものと承知しており、当該事業の平成十一年度から平成十五年度までの共済事業特別会計収支、貸借対照表及び正味財産増減計算書は別表第十一のとおりとなっている。

十八について

お尋ねの剰余金については、毎年度、責任準備金が主務官庁の定める積立額を超えたときに、その超過

額を積み立てている事業積立金が相当すると思われるが、その一部については、取り崩された上、社団法人大日本猟友会の一般会計に繰り入れられ、その多くが、狩猟による自己又は他者の生命又は身体を害する事故の防止のための事業に使用されているものと承知しており、御指摘の射撃場の鉛汚染対策、鉛弾の代替促進等の取組へ支出するかどうかについては、社団法人大日本猟友会において判断されるべきものと考えている。

#### 十九について

散弾、ライフル弾及び空気銃弾の平成十一年度から平成十五年度までの輸出入量及び主な輸出入先については、財務省作成の日本貿易統計によると、別表第十二のとおりである。

なお、日本貿易統計においては、鉛を含むものと鉛を含まないものとは区分されていないが、社団法人日本猟用資材工業会の集計によると、鉛を含まない散弾及びライフル弾（ライフル弾にあつては、鉛を含むが、鳥獣の捕獲に当たって、鉛が暴露しない構造・素材のものを含む。以下同じ。）の輸出入量及び主な輸出入先については、別表第十三のとおりである。

散弾、ライフル弾及び空気銃弾の平成十一年度から平成十五年度までの製造量及び製造場所（都道府県

名)については、経済産業省作成の機械統計等によると、別表第十四のとおりである。

なお、機械統計においては、鉛を含むものと鉛を含まないものとは区分されていないが、社団法人日本猟用資材工業会の集計によると、鉛を含まない散弾及びライフル弾の製造量及び製造場所(都道府県名)については、別表第十五のとおりである。

けん銃弾の平成十一年度から平成十五年度までの輸出入量及び主な輸出入先、製造量及び製造場所(都道府県名)については、それぞれ別表第十六及び別表第十七のとおりである。なお、防衛庁に関するものについては、弾薬量が自衛隊の能力発揮に直接影響を与えるものであるので、その購入数量(輸入量及び製造数量)の答弁は差し控えたい。

鉛を含む砲弾については、平成十一年度から平成十五年度までの間、輸出入及び製造は行われていない。

別表第一 鳥類の鉛中毒防止のために講じられた施策

年 度	施 策	概 要
平成5年度	ガン類及びハクチョウ類の鉛中毒個体に関する監視の重点実施について（平成5年5月12日付け環自野第195号鳥獣保護業務室長通知）の発出	各都道府県の担当部長に対し、水鳥の鉛中毒事故の発生の有無を監視し、外傷のない死亡個体等中毒の可能性のある水鳥を発見した場合は、専門機関において鉛中毒の有無について分析すること及び鉛中毒の発生状況を環境庁に報告することを依頼。
平成11年度	鉛散弾規制地域選定要領について（平成12年1月21日付け環自野第20号環境庁自然環境局長通知）の発出	各都道府県に対し、水鳥の鉛中毒事故を防止するため、鳥獣保護及狩猟ニ関スル法律（大正7年法律第32号）第1条ノ5第5項に基づく狩猟鳥獣の捕獲制限として、鉛製散弾の使用を禁止する特定の水辺域（以下「鉛散弾規制地域」という。）を選定する際の考え方を示した選定要領を通知。
	鳥類の鉛中毒事故の防止について（平成12年3月14日付け環自野第98号鳥獣保護業務室長通知）の発出	各都道府県の担当部長に対し、鉛製散弾規制地域を指定した場合の環境庁長官への届出、鳥類の鉛中毒事故防止に対する狩猟者等への指導及び鳥類の鉛中毒事故が発生した場合の環境庁への報告を依頼。
平成14年度	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）の制定	都道府県知事が、指定猟法禁止区域を設けることができることとし（第15条第1項）、これにより、都道府県知事が、水鳥の鉛中毒被害の防止のため、水辺域における鉛製散弾の使用を禁止する区域を指定できるとするとともに、山野に放置された鳥獣の体内に残存した鉛製散弾ごと猛禽類が摂食することによる鉛中毒の発生等を防止するため、鳥獣の殺傷個体の放置を原則として禁止（第18条）。
	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則（平成14年環境省令第28号）の制定	都道府県知事が指定猟法禁止区域を指定しようとする場合又は区域若しくは存続期間を変更しようとする場合は、環境大臣への届出が必要であることを規定（第14条）。
	鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針（平成14年環境省告示第86号）の策定	鉛製銃弾による鳥獣の鉛中毒が生じている又は生じるおそれのある区域について、鳥獣の鉛中毒の状況等の現状を把握及び分析し、関係機関及び土地所有者・占有者との調整を行いつつ、指定猟法禁止区域の指定を進めていくなどとの指針を策定。
平成15年度	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の施行等について（平成15年4月15日付け環自野発第030415012号環境省自然環境局長通知）の発出	各都道府県に対し、鳥獣保護及狩猟ニ関スル法律第1条ノ5第5項に基づき指定された鉛散弾規制地域を鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第15条第1項で定められた指定猟法禁止区域への移行及び同区域の拡大を要請。



別表第二 鳥類の鉛中毒防止に関する施策を実施するために要した経費の推移

単位：千円

年 度	経 費
平成3年度	4,083
平成6年度	11,752
平成7年度	11,775
平成8年度	10,900
平成9年度	3,000
平成10年度	3,000
平成11年度	104,500
平成12年度	5,621
平成13年度	16,000
平成14年度	13,500
平成15年度	20,000

## 別表第三

## 1 各都道府県における鳥類の鉛中毒防止に係る施策

都道府県名	年 度	講じられた施策	概 要
北海道	平成元年度 ～平成5年度	宮島沼における環境整備	残留散弾粒の攪拌沈降処理、小砂利の散布、鉛摂取防止ネットの設置を実施
	平成12年度	鉛製ライフル弾によるエゾシカ捕獲の禁止	鉛製ライフル弾によるエゾシカ捕獲を禁止
		鉛散弾規制区域の指定	袋池沼(砂川市、樺戸郡新十津川町)、弁天沼(苫小牧市)、フレシマ湿原(根室市)を鉛散弾規制地域に指定
	平成13年度	全ての鉛製銃弾によるエゾシカ捕獲の禁止	エゾシカ猟における鉛製スラッグ弾の使用を禁止し、全ての鉛製銃弾によるエゾシカ捕獲を禁止
	平成14年度	鉛散弾規制区域の指定	サロマ湖(常呂郡常呂町、常呂郡佐呂間町、紋別郡湧別町)を鉛散弾規制地域に指定
		ワシ類鉛中毒防止連絡会議の設置	関係機関(道、国、社団法人北海道猟友会、ワシ類鉛中毒ネットワーク、北海道銃砲火薬商組合等)による鉛中毒防止のための施策の検討を行う連絡会議を設置
青森県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	小川原湖(三沢市、上北郡上北町、上北郡東北町、上北郡六ヶ所村)を鉛散弾規制地域に指定
岩手県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	一関(一関市)、胆沢・前沢(胆沢郡胆沢町、胆沢郡前沢町)、花巻・北上(花巻市、北上市)を鉛散弾規制地域に指定
宮城県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	若柳(栗原郡若柳町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成13年度	鉛散弾規制地域の指定	角田・丸森(角田市、伊具郡丸森町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成15年度	指定猟法禁止区域(鉛製ライフル弾の使用禁止)の指定	牡鹿半島を指定猟法禁止区域に指定
		指定猟法禁止区域(鉛製散弾の使用禁止)の指定	主要な水辺(75か所)を指定猟法禁止区域に指定(上記鉛散弾規制地域から移行したものを含む)
秋田県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	雄物川下流(秋田市)、山背ダム(北秋田郡田代町)を鉛散弾規制地域に指定
山形県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	上郷ダム上流部(西村山郡朝日町)、酒田・余目(酒田市、東田川郡余目町、鮎川郡平田町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成13年度 以降	狩猟に伴う事故防止及び違法捕獲の防止について関係団体へ要請	規制区域での非鉛弾の使用徹底及びその他地域での鉛弾使用自粛を社団法人山形県猟友会に要請(毎年度依頼通知を发出)
		規制地域パトロールの実施	毎年、狩猟期間初日に規制地域のパトロールを実施

都道府県名	年 度	講じられた施策	概 要
福島県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	大川(会津若松市、北会津郡北会津村、河沼郡会津坂下町、河沼郡湯川村)を鉛散弾規制地域に指定
	平成14年度	鉛中毒発生地における鉛残留調査	飛来白鳥に鉛中毒が発生している池沼において、鉛の残留調査を行い、餌付け手法等の対策を検討実施
	平成15年度	指定猟法禁止区域(鉛製散弾の使用禁止)の指定	牡丹池(西白河郡矢吹町)、阿賀川(上記鉛散弾規制地域から移行)、埴木崎(相馬郡新地町)を指定猟法禁止区域に指定
茨城県	平成14年度	鉛散弾規制地域の指定	桜川(霞ヶ浦南側)を鉛散弾規制地域に指定
栃木県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	鬼怒川流域(小山市、芳賀郡二宮町、河内郡南河内町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成13年度	鉛散弾規制地域の指定	鬼怒川(平成12年度指定区域、塩谷郡塩谷町)、渡良瀬川(足利市、佐野市、藤岡市)を鉛散弾規制地域に指定
	平成14年度	指定猟法禁止区域(鉛製散弾の使用禁止)の指定	上記鉛散弾規制地域2か所を指定猟法禁止区域に移行
群馬県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	利根大堰(邑楽郡千代田町)を鉛散弾規制地域に指定
埼玉県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	利根大堰(大里郡妻沼町、行田市)を鉛散弾規制地域に指定
	平成15年度	指定猟法禁止区域(鉛製散弾の使用禁止)の指定	荒川(上尾市、桶川市、北本市他9市町)、入間川(川越市、比企郡川島町)、越辺川(坂戸市)、利根大堰(上記鉛散弾規制地域から移行)を指定猟法禁止区域に指定
千葉県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	与田浦(佐原市)を鉛散弾規制地域に指定
東京都	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	大路池(三宅村)を鉛散弾規制地域に指定
神奈川県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	酒匂川上流(足柄上郡山北町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成15年度	指定猟法禁止区域(鉛製散弾の使用禁止)の指定	上記鉛散弾規制地域を指定猟法禁止区域に移行
	平成12年度以降	鉛弾規制の内容等について狩猟者へ周知・徹底	狩猟免許更新講習において、鉛中毒問題、鉛弾規制の内容等について周知・徹底
新潟県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	阿賀野川流域(豊栄市、北蒲原郡京ヶ瀬村、中蒲原郡横越町)を鉛散弾規制地域に指定
富山県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	神通川下流(富山市)を鉛散弾規制地域に指定
石川県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	柴山潟(加賀市)を鉛散弾規制地域に指定

都道府県名	年 度	講じられた施策	概 要
福井県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	北潟(坂井郡芦原町)、九頭竜川(勝山市)を鉛散弾規制地域に指定
	平成12年度以降	鉛弾規制の内容等について狩猟者へ周知・徹底	狩猟免許更新講習において、鉛中毒問題、鉛弾規制の内容等について周知・徹底
山梨県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	天子湖(南巨摩郡南部町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成15年度	指定猟法禁止区域(鉛製散弾の使用禁止)の指定	上記鉛散弾規制地域を指定猟法禁止区域に移行
長野県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	千曲川(飯山市)を鉛散弾規制地域に指定
岐阜県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	東海大橋上流部(海津郡海津町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成15年度	鉛散弾環境影響調査の実施	水鳥の鉛汚染実態調査、県政モニターへのアンケート調査の実施及び狩猟者の普及啓発の実施
静岡県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	天竜川下流(浜松市、磐田郡竜洋町、磐田郡豊田町)を鉛散弾規制地域に指定
愛知県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	矢作川河口部(碧南市、西尾市、幡豆郡一色町)を鉛散弾規制地域に指定
三重県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	磯部町伊雑ノ浦(志摩郡磯部町)、尾鷲市本須賀利(尾鷲市)、御浜町上市木(南牟婁郡御浜町)、阿山町滝谷池(阿山郡阿山町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成12年度以降	鉛弾規制の内容等について狩猟者へ周知・徹底	狩猟免許更新講習において、鉛中毒問題、鉛弾規制の内容等について周知・徹底、狩猟者に配布している地図に非鉛弾への切替えを要請する旨記載
滋賀県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	野田沼(東浅井郡湖北町)を鉛散弾規制地域に指定
京都府	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	由良川河口(舞鶴市)を鉛散弾規制地域に指定
兵庫県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	千刈水源池(宝塚市)を鉛散弾規制地域に指定
	平成15年度	指定猟法禁止区域(鉛製散弾の使用禁止)の指定	上記鉛散弾規制地域を指定猟法禁止区域に移行
奈良県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	坂本ダム(吉野郡上北山村)を鉛散弾規制地域に指定
和歌山県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	知谷池・あさお池(那賀郡打田町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成15年度	指定猟法禁止区域(鉛製散弾の使用禁止)の指定	上記鉛散弾規制地域を指定猟法禁止区域に移行

都道府県名	年度	講じられた施策	概要
鳥取県	平成13年度	鉛散弾規制地域の指定	乗越池(鳥取市)、千倉奥池(八頭郡河原町)、国府川(倉吉市)、猿飛池(日野郡江府町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成14年度	鉛散弾規制地域の指定	南崎津川(米子市)を鉛散弾規制地域に指定
島根県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	秋鹿(松江市)を鉛散弾規制地域に指定
	平成12年度以降	へい死鳥の病性鑑定	外傷のないへい死鳥の死亡原因を鑑定し、鉛中毒の有無を確認
岡山県	平成13年度	鉛散弾規制地域の指定	尾坂池(笠岡市)を鉛散弾規制地域に指定
広島県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	光林寺池(福山市)を鉛散弾規制地域に指定
山口県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	大道理大向(徳山市)を鉛散弾規制地域に指定
	平成12年度以降	鉛弾規制の内容等について狩猟者へ周知・徹底	狩猟者登録の際に、鉛弾規制のチラシを配布し、鉛弾規制の内容等について周知・徹底
徳島県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	橋湾(阿南市)を鉛散弾規制地域に指定
	平成15年度	指定猟法禁止区域(鉛製散弾の使用禁止)の指定	上記鉛散弾規制地域を指定猟法禁止区域に移行
香川県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	新池(香川郡香川町)を鉛散弾規制地域に指定
愛媛県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	大塚池(越智郡玉川町)、山田新池(松山市)、李所地区(東宇和郡宇和町)を鉛散弾規制地域に指定
高知県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	長沢ダム(土佐郡本川村)を鉛散弾規制地域に指定
福岡県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	泉川河口(糸島郡志摩町、前原市)、椎田(築上郡椎田町)を鉛散弾規制地域に指定
佐賀県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	只江川河口(杵島郡白石町、杵島郡有明町)を鉛散弾規制地域に指定
長崎県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	長与町・時津町(西彼杵郡長与町、西彼杵郡時津町)を鉛散弾規制地域に指定
熊本県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	八代(八代市)を鉛散弾規制地域に指定
	平成13年度	鉛散弾規制地域の指定	不知火(宇土郡不知火町、下益城郡松橋町、下益城郡小川町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成15年度	指定猟法禁止区域(鉛製散弾の使用禁止)の指定	上記鉛散弾規制地域2か所を指定猟法禁止区域に移行

都道府県名	年度	講じられた施策	概要
大分県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	青江(津久見市)、香下(宇佐郡院内町)、田村(大野郡朝地町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成15年度	指定猟法禁止区域(鉛製散弾の使用禁止)の指定	上記鉛散弾規制地域3か所を指定猟法禁止区域に移行
宮崎県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	一ツ瀬川(児湯郡新富町、宮崎郡佐土原町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成14年度以降	鉛弾規制の内容等について狩猟者へ周知・徹底	狩猟免許更新講習において、鉛中毒問題、鉛弾規制の内容等について周知・徹底
鹿児島県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	出水市、野田町、高尾野町の一部(出水市、出水郡野田町、出水郡高尾野町)を鉛散弾規制地域に指定
	平成16年度	指定猟法禁止区域(鉛製散弾の使用禁止)の指定	上記鉛散弾規制地域を指定猟法禁止区域に移行
沖縄県	平成12年度	鉛散弾規制地域の指定	伊是名島(島尻郡伊是名村)全域を鉛散弾規制地域に指定

## 2 北海道内の市町村における鳥類の鉛中毒防止に係る施策

市町村名	年度	講じられた施策	概要
常呂郡留辺蘂町	平成11年度以降	残滓回収ステーションの設置	狩猟期間に捕獲物残滓の回収ステーションを設置
常呂郡置戸町	平成15年度	残滓回収ステーションの設置	狩猟期間に捕獲物残滓の回収ステーションを設置
足寄郡足寄町	平成10年度～平成14年度	残滓回収ステーションの設置	狩猟期間に捕獲物残滓の回収ステーションを設置
十勝郡浦幌町	平成11年度～平成13年度	残滓回収ステーションの設置	狩猟期間に捕獲物残滓の回収ステーションを設置
厚岸郡厚岸町	平成11年度～平成13年度、平成15年度	残滓回収ステーションの設置	狩猟期間に捕獲物残滓の回収ステーションを設置
川上郡弟子屈町	平成11年度以降	残滓回収ステーションの設置	狩猟期間に捕獲物残滓の回収ステーションを設置
阿寒郡阿寒町	平成10年度以降	残滓回収ステーションの設置	狩猟期間に捕獲物残滓の回収ステーションを設置
白糠郡白糠町	平成10年度以降	残滓回収ステーションの設置	狩猟期間に捕獲物残滓の回収ステーションを設置

別表第四 銃砲刀剣類所持等取締法第9条の2第1項の規定に基づいて都道府県公安委員会に指定されている射撃場

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
1	北海道公安委員会	小樽ライフル射撃場	小樽市奥沢5-152		○					
2		浦臼国際散弾銃射撃場	樺戸郡浦臼町字浦臼内589-1	○						
3		浦臼国際ライフル射撃場			○					
4		浦臼空気銃射撃場				○				
5		日胆ライフル射撃協会射撃場	勇払郡穂別町字穂別182-1		○					
6		札幌市宮の沢屋内競技場ライフル銃射撃場	札幌市西区宮の沢490-9		○					
7		札幌市宮の沢屋内競技場空気銃射撃場				○				
8		小樽クレー射撃場	小樽市真栄2-162	○						
9		倶知安クレー射撃場	虻田郡倶知安町字峠下236	○						
10		(株)北海道栗山国際クレー射撃場	夕張郡栗山町字継立158-1	○						
11		南幌国際散弾銃射撃場	空知郡南幌町南17線西23	○						
12		豊滝射撃場	札幌市南区豊滝517	○						
13		登別総合クレー射撃場	登別市富岸町190-1	○						
14		北星学園新札幌高等学校	札幌市厚別区下野幌38			○				
15		北海道大学空気銃射撃場	札幌市北区北17西13			○				

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
16	函館方面公安委員会	江差支部射撃場	檜山郡江差町字五厘沢384	○	○					
17		函館ライフル射撃場	亀田郡七重町字上軍川940-1		○	○				
18		ノースマンライフル射撃場	函館市亀田中野町219-2		○	○				
19		ユーラップ射撃場	山越郡八雲町花浦333	○						
20		七飯総合射撃場	亀田郡七重町字大川781	○						
21	旭川方面公安委員会	当麻ライフル射撃場	上川郡当麻町3149		○					
22		道北射撃場	名寄市日進698	○						
23		士別射撃クラブ刈分射撃場	上川郡剣淵町シルトルマップ1971-153	○						
24		旭川国際クレー射撃場	旭川市江丹別共和270	○						
25		白金クレー射撃場	上川郡美瑛町字美瑛原野7514	○						
26		稚内射撃場	稚内市大学声門村字ナイボボテ7484	○						
27		フォルトリンクス・エアライフル射撃場	士別市東6-5			○				
28	釧路方面公安委員会	ホップワン・シューティング・レンジ・イン・クシロ	釧路市新野29-1	○	○					
29		釧路ライフル射撃協会尾幌ライフル射撃場	厚岸郡厚岸町大字苫多村字尾幌19-1		○					
30		帯広総合ライフルクレー射撃場	河西郡芽室町平和西14線22	○	○					
31		帯広国際ライフルクレー射撃場	河西郡芽室町上芽室3号59-1	○	○					



番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
32	北見方面公安委員会	北見ライフル射撃場	常呂郡丹野町3区		○	○				
33		津別ライフル射撃練習場	網走郡津別町字恩根580-13		○					
34		美幌射撃場	網走郡美幌町字美和220-5		○					
35		雄武ライフル射撃練習場	紋別郡雄武町字上雄武99		○					
36		網走射撃場	網走市能取179-5	○	○	○				
37		白滝猟友会白滝射撃場	紋別郡白滝村字白滝210	○						
38		北見国際クレー射撃場	北見市大和293	○						
39		青森県公安委員会	青森散弾銃射撃場	青森市野沢字川部76-1	○					
40	弘前射撃場		弘前市小栗山字鷲ノ巣1-657	○						
41	三沢散弾銃射撃場		三沢市三沢字平畑65-5	○						
42	社団法人下北郡猟友会入口クレー射撃場		下北郡東通村野牛字稻先平8-2	○						
43	鯉ヶ沢町大高山ライフル射撃場		西津軽郡鯉ヶ沢町舞戸町字東阿部野2		○	○				
44	エア・ライフル青森射撃場		青森市小柳字鴨泊10-6			○				
45	青森県警察学校射撃場		青森市新城字天田内130-3				○	青森県警察学校指導第一係長	850㎡ 約3,900人	
46	雫八戸射撃場		三戸郡福地村片岸字八木田65-37	○						
47	岩手県公安委員会	警察学校射撃場	岩手郡滝沢村滝沢字外山163-3		○	○		岩手県警察学校校長	740㎡ 約1,600人	
48		鶯宿温泉射撃場	岩手郡雫石町鶯宿男助山1	○	○					
49		上原空気銃射撃場	岩手郡雫石町八掛1-6			○				
50		田山射撃場	岩手郡安代町字矢神178-4		○					
51		田山屋内射撃場	岩手郡安代町字矢神14-2			○				

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の利用者数
				散弾銃	ライフル銃	空気銃	けん銃			
52	岩手県公安委員会	矢巾総合射撃場	紫波郡矢巾町大字和味2谷地頭106-1	○	○	○				
53		花巻クレー射撃場	花巻市湯口字松沢70	○						
54		高橋AR射撃場	花巻市高木14-29-2			○				
55		北上総合射撃場	北上市口内町字森131	○	○	○				
56		和賀町射撃場	北上市和賀町横川目3-27	○						
57		水沢市クレー射撃場	水沢市羽田町水無沢2-1			○				
58		摺沢射撃場	東磐井郡大東町摺沢字細木124-34	○						
59		遠野市クレー射撃場	遠野市遠野町32-105-17	○	○					
60		釜石総合射撃場	釜石市唐丹町字川目88-1	○	○					
61		宮古指定射撃場	宮古市大字津軽石13大路364	○	○					
62		岩泉常設射撃場	下閉伊郡岩泉町大字乙茂1字上向61	○						
63		久慈常設射撃場	久慈市大川目町10-8	○						
64		一戸射撃場	二戸郡一戸町小繁字西田子1406	○						
65		岩手一戸総合射撃場	二戸郡一戸町小友字山井127-2		○	○				
66		金田一温泉射撃場	二戸市金田一字大清水5-11	○						
67		鳥越射撃場	二戸郡一戸町鳥越字額卸49-4		○					
68		宮城県公安委員会	東北工業大学射撃場	仙台市太白区八木山香澄町35-1			○			
69	志津川クレー射撃場		本吉郡志津川町大沢127-1	○						
70	鳴子町クレー射撃場		玉造郡鳴子町字湯元67-3	○						
71	東北学院大学泉キャンパスエアライフル射撃場		仙台市泉区天神沢2-18			○				
72	七ヶ宿クレー射撃場		刈田郡七ヶ宿町字若林山36	○						
73	大内猟友会常設射撃場		伊具郡丸森町大内岩の入86-87	○						

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ライ フル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
74	宮城県公安委員会	角田クレー射撃場	角田市島田字諏訪部36	○						
75		気仙沼ライフル射撃場	気仙沼市字川上497		○					
76		志たかじや総合射撃場	登米郡東和町米川字松坂142-7	○	○					
77		宮城県クレー射撃場	柴田郡村田町大字足立字大平山1-24	○						
78		登米支部玉山射撃場	登米郡中田町浅水浅部玉山	○						
79		仙台総合射撃場	仙台市青葉区芋沢大竹字権現森山47	○						
80		石巻総合射撃場	石巻市大瓜内字亀山139	○	○					
81		宮城県ライフル射撃場	石巻市沢田字金山72		○	○	○			
82		秋田県公安委員会	鹿角市クレー射撃場	鹿角市尾去沢字笹小屋14	○					
83			大館大子内射撃場	大館市大子内字堂の沢49、50	○	○	○			
84	比内射撃場		北秋田郡比内町大葛字弟ヶ沢地内	○						
85	田代射撃場		北秋田郡田代町外川原字比泥沢46、69	○						
86	大野台射撃場		北秋田郡森吉町米内沢字長野沢105	○						
87	北部シーサイドクレー射撃場		能代市浅内字上西山37-1	○						
88	男鹿市脳本クレー射撃場		男鹿市脳本田谷沢字立木沢1-1	○						
89	秋田県立総合射撃場		由利郡岩城町道川字新田沢43	○	○	○				
90	秋田県警察学校		秋田市新屋勝平台9-2			○	○	秋田県警察学校 校長	860㎡	約2,100人
91	本荘射撃場		本荘市三条字清水尻25	○						
92	大平射撃場		由利郡東由利町宿字湯ノ沢80	○						
93	大内町散弾銃射撃場		由利郡大内町及位字大沢77	○						
94	本荘エアライフル射撃場		本荘市石脳字石の花77			○				
95	矢島クレー射撃場		由利郡矢島町荒沢字鶴田19	○						
96	鳥海町射撃場		由利郡鳥海町上川内字提鍋沢30-1	○						

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
97	秋田県公安委員会	大曲総合射撃場	大曲市内小友字長持沢11	○						
98		田沢湖クレ射撃場	仙北郡田沢湖町生保内字発鳥山4	○						
99		横手総合射撃場	横手市金沢中野字丸森1	○						
100		湯沢市クレ射撃場	湯沢市山谷字蛇野12-9、15-2	○	○					
101		羽後町クレ射撃場	雄勝郡羽後町田代字七曲山1	○						
102		東成瀬村ライフル射撃場	雄勝郡東成瀬村榑川字沼ノ上60-1		○					
103	山形県公安委員会	小野川クレ射撃場	米沢市小野川町滝ノ沢川原地内	○						
104		南陽市赤湯クレ射撃場	南陽市新田字銀山5-2	○						
105		羽黒町羽黒射撃場	東田川郡羽黒町大字手向字水呑沢87	○						
106		遊佐町射撃場	飽海郡遊佐町大字杉沢字中山地内	○						
107		エアライフル室内射撃場	飽海郡遊佐町大字比子字白木10-9			○				
108		鳥海射撃場	東村山郡山辺町湯舟面白3804-127	○						
109		東根クレ射撃場	東根市大字東根元東根字袖の沢9637	○	○	○				
110		小国町猟友会射撃場	西置賜郡小国町大字大宮字松ヶ沢363-1	○	○					
111		飯豊猟友会白川射撃場	西置賜郡飯豊町大字高峰釜字渋沼4223-1	○						
112		山形城北高等学校エアライフル射撃場	山形市肴町1-13			○				
113		南陽市ライフル射撃場	南陽市川樋字加藤屋敷380		○	○	○			
114	山形県猟友会射撃センター	最上郡舟形町長沢字黒森4016	○							
115	福島県公安委員会	福島市クレ射撃場	福島市小田字滝ノ入2-1	○						
116		福島エアライフル射撃場	福島市山口字高谷78			○				
117		福島県警察学校射撃場	福島市蓬莱町1-1-1				○	福島県警察学校長	1,284㎡ 約2,600人	
118		梁川射撃場	伊達郡梁川町大字八幡字取揚沢	○						
119		二本松市総合射撃場	二本松市大森沢100	○	○	○	○			

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
120	福島県公安委員会	日本大学工学部射撃場	郡山市田村町大字徳定字中川原1			○				
121		福島県中央国際射撃場	須賀川市大字小倉字埋平417	○						
122		石川町射撃場	石川郡石川町大字曲木字東山神35	○						
123		矢祭射撃場	東白川郡矢祭町大字山下字東ヶ谷地43	○						
124		小野町常設射撃場	田村郡小野町大字夏井字川除8-1	○						
125		磐梯国際クレー射撃場	河沼郡河東町大字八田字大野原甲4394	○						
126		喜多方猟友会研修センター	耶麻郡山都町字二十日森5916-31	○						
127		只見つつじが丘射撃場	南会津郡只見町大字大倉字名沢1334-2	○						
128		田島町川島射撃場	南会津郡田島町大字川島字向林1242-2	○						
129		いわき総合射撃場	いわき市好間町北好間字下ヶ屋敷1-9	○	○	○				
130	菊地屋佐々木商店初野射撃場	相馬市初野字栗原247	○							
131	東京都公安委員会	明治大学中野高等学校射撃場	中野区東中野3-3-4			○				
132		世田谷区立総合運動場体育館エアライフル射撃場	世田谷区大蔵1-6-1			○				
133		中央大学エアライフル射撃場	八王子市東中野748			○				
134		日本ライフル射撃場後楽園射撃道場	文京区春日1-5-7			○				
135		江戸川区立総合体育館エアライフル射撃場	江戸川区本一色町1250			○				
136		練馬区立総合体育館エアライフル射撃場	練馬区谷原1-7-5			○				
137		関東管区警察学校第一射撃場	小平市喜平町2-5-1				○	関東管区警察学校術科教官室けん銃班長	1,907㎡	約7,800人
138		関東管区警察学校第二射撃場					○		492㎡	0人

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の利用者数
				散弾銃	ライフル銃	空気銃	けん銃			
139	東京都公安委員会	台東区リバーサイドスポーツセンターエアライフル射撃場	台東区今戸1-1-10			○				
140		法政大学エアライフル射撃場	町田市相原町4342			○				
141		葛飾区立総合スポーツセンター体育館エアライフル射撃場	葛飾区奥戸7-17-1			○				
142		荒川区立総合スポーツセンターエアライフル射撃場	荒川区南千住6-45-6			○				
143		警視庁射撃場	江東区新木場4-1-1			○	○	警視庁 警務部 教養課 教養管理官	4,720㎡	約35,000人
144		府中市立総合体育館エアライフル射撃場	府中市矢崎町5-5			○				
145		目黒区立中央体育館エアライフル射撃場	目黒区本町5-22-8			○				
146		早大東伏見スポーツホールエアライフル射撃場	西東京市東伏見3-4-66		○	○				
147		足立区立総合スポーツセンターエアライフル射撃場	足立区東保木間2-27-1			○				
148		中央区立総合スポーツセンターエアライフル射撃場	中央区日本橋浜町2-59-1 区立浜町公園内			○				
149		国立スポーツ科学センター射撃場	北区西が丘3-15-1		○	○	○			
150		茨城県公安委員会	SKB友部射撃場	西茨城郡友部町平町1416-1	○					
151			土浦射撃倶楽部筑波射撃場	つくば市大形2047	○					
152			県営ライフル射撃場	真壁郡真壁町桜井1074-2		○	○	○		
153	潮来射撃場		潮来市辻1158	○						

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
154	茨城県公安委員会	筑波大学射撃場	つくば市天王台1-1-1			○				
155		茨城県狩猟者研修センター射撃場	笠間市石寺680	○	○	○	○			
156		江戸崎エアライフル射撃場	稲敷郡江戸崎町江戸崎甲2751			○				
157		高萩射撃場	高萩市秋山2918	○						
158		茨城県警察学校けん銃射撃場	東茨城郡茨城町上石崎4667-4			○	○	茨城県警察学校校長	649㎡	約2,700人
159	栃木県公安委員会	栃木県ライフル射撃場	宇都宮市新里乙1067		○	○	○			
160		栃木県総合射撃場		○						
161		那須国際射撃場	那須郡那須町大字高久甲3900	○						
162		塩那総合射撃場	黒磯市高林字蛇尾川添307-16	○						
163		塩谷クレー射撃場	塩谷郡塩谷町大字玉生1928	○						
164		塩谷喜連川射撃場	塩谷郡喜連川町大字鹿子畑319	○						
165		宇都宮射撃場	河内郡河内町大字宮山田809	○						
166		古峰原常設射撃場	鹿沼市草久5075	○						
167		ニッコー栃木総合射撃場	栃木市尻内町吉原金剛寺1856-5	○	○	○				
168		足利常設射撃場	足利市松田町3013	○						
169		黒磯市エアライフル射撃場	黒磯市上厚崎640			○				
170		神山銃砲火薬店空気銃射撃場	鹿沼市泉町2371			○				
171		栃木県警察学校射撃場	宇都宮市若草2-3-76			○	○	栃木県警察学校校長	796㎡	約2,300人

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
172	群馬県公安委員会	群馬県クレ 射撃場	安中市中宿2000-4	○						
173		高崎射撃場 ニューフロン ティア	高崎市飯塚町340			○				
174		大利根ゴル フ・エア・ラ イフル射撃場	伊勢崎市八斗島町甲 807			○				
175		鬼石国際射撃 場	多野郡鬼石町大字譲原 1871	○						
176		群馬県ライ フル射撃場	北群馬郡榛東村大字上 野原2		○	○	○			
177		群馬県警察学 校射撃場	前橋市元総社町80-5			○	○	群馬県 警察本 部教養 課術科 教養係 長	1,242㎡	約2,600人
178		ぐんまジャ イアント総合 クレ射撃場	富岡市桑原604	○						
179		ぐんまジャ イアントライ フル射撃場			○					
180		すずり射撃場	北群馬郡榛東村大字広 馬場1519-2			○				
181		百穴射撃場	比企郡吉見町大字吉見 35	○						
182	芝浦工業大学 大宮エア・ラ イフル射撃場	さいたま市見沼区大字 深作307			○					
183	朝霞射撃場	新座市新塚5061-2		○	○	○	朝霞駐 屯地業 務隊長	朝霞訓練場 (約721,000㎡) の一部	約15,100人	
184	浦和エア・ ライフル射撃 場	さいたま市浦和区岸町 6-1-8			○					
185	石山エア・ ライフル射撃 場	新座市野火止1-14-16			○					
186	日本大学ス モールポアラ イフル射撃場	戸田市笹目7-20		○						
187	日本大学エア ライフル射撃 場					○				



番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
188	埼玉県公安委員会	国際学院伊奈高等専修学校エアライフル射撃場	北足立郡伊奈町大字小室10474			○				
189		一本木ライフル射撃場	戸田市笹目1-2-1		○					
190		立教大学体育会射撃部射撃場	富士見市南畑1343-1			○				
191		埼玉県長瀬総合射撃場	秩父郡長瀬町大字野上下郷2395-1	○	○	○	○			
192		栄北高等学校空気銃射撃場	北足立郡伊奈町大字小室1123			○				
193	千葉県公安委員会	千葉県射撃場	市原市古敷谷2620	○	○	○				
194		千葉県総合スポーツセンター射撃場	千葉市若葉区小間子町4-3		○	○	○			
195		京葉射撃倶楽部	市原市犬成字深谷山964-1	○						
196		成田射撃場	印旛郡印旛村山田166	○						
197		鴨川国際射撃場	鴨川市打墨大台2329	○						
198		金谷国際射撃場	高津市金谷625	○						
199		銚子射撃場	銚子市森戸町1594	○						
200		末広射撃場	八千代市大和田新田226			○				
201		千葉県警察学校射撃場	東金市土農田28-1			○	○	千葉県警察本部警務部教養課課長補佐	1,426㎡	約8,900人
202		千葉大学エアライフル射撃場	千葉市稲毛区弥生町1-33			○				
203	千葉工業大学エアライフル射撃場	習志野市茜浜3-4-10			○					
204	千葉工商高校エアライフル射撃場	千葉市稲毛区穴川1-5-21			○					

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
205	千葉県公安委員会	千葉県立茂原農業高校射撃場	茂原市上林283			○				
206		市原市中央武道館エアライフル場	市原市能満1474-1			○				
207		C A W空気銃射撃場	佐原市玉造11-6			○				
208	神奈川県公安委員会	神奈川県立伊勢原射撃場	伊勢原市上粕屋2380	○	○	○	○			
209		神奈川県立大井射撃場	足柄上郡大井町赤田902	○						
210		慶応義塾大学日吉射撃場	横浜市港北区日吉4-1-1			○				
211		高木学園射撃場	横浜市港北区菊名7-6-43			○				
212		國學院大学たまプラーザ射撃場	横浜市青葉区新石川3-31-1			○				
213		明治学院大学横浜校舎射撃場	横浜市戸塚区上倉田町1518			○				
214		明治大学生田射撃場	川崎市多摩区東三田1-1-1		○	○				
215		防衛大学校校内射撃場	横須賀市走水1-10-20		○	○		防衛大学校訓練課長	防衛大学校(約646,000㎡)の一部	約5,300人
216		くりはま花の国エアライフル場	横須賀市神明町1			○				
217		平塚エアライフル射撃場	平塚市八重咲町7-25			○				
218	青山学院大学エアライフル射撃場	相模原市淵野辺5-10-1			○					
219	新潟県公安委員会	常設佐渡射撃場	佐渡市北新保字川西丙2-167	○						
220		上野射撃場	岩船郡朝日村大字上野字大林1119	○						
221		胎内射撃場	北蒲原郡黒川村大字熱田坂字長崎野881-145	○	○	○				
222		新津クレー射撃場	中蒲原郡小須戸町大字矢代田字足洗場6140	○						
223		三条射撃場	三条市大字月岡長谷5043	○						
224		巻射撃場	西蒲原郡巻町大字福井4192	○						

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の利用者数
				散弾銃	ライフル銃	空気銃	けん銃			
225	新潟県公安委員会	長岡国際射撃場	長岡市大積町字馬平389	○		○				
226		柏崎射撃場	柏崎市大字鯨波字天満352	○		○				
227		中頸城郡板倉町射撃協会射撃場	中頸城郡板倉町大字玄藤寺中尾山	○						
228		関山演習場射撃場	中頸城郡妙高村大字関山字武蔵野6751		○			高田駐屯地業務隊長	関山演習場(約15,674,000㎡)の一部	約8,400人(指定のない射撃場の利用者を含む。)
229		浦川原射撃場	東頸城郡浦川原村大字釜淵字宝ヶ入486-488	○						
230		松代町射撃場	東頸城郡松代町大字松代字道向4030	○						
231	山梨県公安委員会	苔突エアライフル射撃場	北蒲原郡中条町大字苔突字築地原1805-1			○				
232		山梨県立韮崎射撃場	韮崎市清哲町青木175-2	○	○					
233		山梨県立八代射撃場	東八代郡八代町竹居5737		○	○				
234		下部射撃場	西八代郡下部町車田490	○						
235		都留市鹿留射撃場	都留市鹿留3101	○	○					
236		富士五湖ライフル/クレー射撃倶楽部	南都留郡忍野村忍草2761-1	○	○					
237	大月クレー射撃場	大月市猿橋町猿橋1022	○							
238	山梨県警察学校射撃場	山梨県立石和高等学校射撃場	東八代郡石和町市部3			○				
239		山梨県警察学校射撃場	中巨摩郡竜王町西八幡4422-3			○	○	山梨県警察学校長	879㎡	約1,600人
240		長野射撃場	長野市大字広瀬字小名田沖3237	○	○	○				
241	長野県公安委員会	中野総合射撃場	中野市大字田上字牧ノ入2439	○		○				
242		中尾山射撃場	長野市篠ノ井岡田字庚申塔3241		○	○				
243		上小淵友会菅平射撃場	小県郡真田町大字長字菅平1223-620	○		○				
244		佐久平国際射撃場	佐久市大字内山字水上6240	○						
245		諏訪射撃場	岡谷市川岸男高尾1651	○						

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
246	長野県公安委員会	長野県営総合射撃場	上伊那郡辰野町大字沢底字山寺山2209-3	○	○	○				
247		岡谷市営射撃場	岡谷市神明町1-1-1		○	○				
248		飯伊連合猟友会飯田国際射撃場	飯田市大瀬木牧平1856	○		○				
249		木曾国際射撃場	木曾郡上松町高山355イの16	○	○	○				
250		木曾エアースタイル伊東射撃場	木曾郡木曾福島町5888			○				
251		寿スキー射撃場	松本市大字寿白瀬淵字大臼山1250	○						
252		中信国際射撃場	南安曇郡豊科町大字高家2300	○		○				
253		大町総合射撃場	大町市大字大町字中山3293	○		○				
254		長野県警察学校射撃場	長野市松代町西条3929				○	長野県警察学校副校長	944㎡ 約4,000人	
255	静岡県公安委員会	須山クレ射撃場	裾野市須山2311-1-124	○	○					
256		静岡県ライフル射撃協会東富士ライフル射撃場	駿東郡小山町湯船字下原1061-1		○	○	○			
257		富士国際射撃場	富士市岩本大字長尾1663	○		○				
258		富士岩本山ライフル射撃場	富士市岩本1597-1		○	○				
259		国際ルール西富士射撃場	富士宮市猪頭字鞍掛	○						
260		西富士ライフル射撃場			○					
261		静岡クレ射撃場	静岡市谷田1184	○						
262		エアライフル静岡射撃場				○				
263		藤枝市瀬戸谷屋内競技場	藤枝市瀬戸ノ谷10258		○	○				
264	静岡県クレ射撃場	周智郡春野町戎戸大上1-1	○	○						

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ライ フル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
265	静岡県公安委員会	永田企業(株)袋井クレー射撃場	袋井市堀越1604	○						
266		観音山射撃場	天竜市懐山39-1		○					
267		水窪町射撃技術訓練センター	磐田郡水窪町奥領家4181	○	○					
268	富山県公安委員会	富山県福光射撃場	西砺波郡福光町才川734	○	○	○	○			
269		富山県警察学校射撃場	富山市向新庄町8-2-46			○	○	富山県警察学校長	1,504㎡ 約1,600人	
270	石川県公安委員会	医王山ライフル射撃場	金沢市田島町よ22		○	○				
271		石川県エア・ライフル射撃場	金沢市北塚町東220			○				
272		羽咋市散弾銃射撃場	羽咋市滝谷町ツ1	○						
273		加賀散弾銃射撃場	加賀市分校町△12-67	○						
274		金沢大学エア・ライフル射撃場	金沢市角間町			○				
275	福井県公安委員会	福井県立ライフル射撃場	福井市杉谷町49字桶の谷40-2		○	○				
276		福井県立クレー射撃場	勝山市野向町牛ヶ谷107-3	○						
277		福井県立科学技術高等学校射撃場	福井市下江守町28			○				
278		福井県警察学校射撃場	福井市荒木新保町5-9			○	○	福井県警察学校長	1,134㎡ 約1,200人	
279		エキサイト広場エア・ライフル射撃場	大野市桜塚町601			○				
280	岐阜県公安委員会	岐阜市民総合体育館空気銃射撃場	岐阜市九重町4-24-1			○				
281		岐阜エア・ライフル射撃場	岐阜市木挽町27			○				
282		揖斐教習射撃場	揖斐郡坂内村大字広瀬字川尻5	○	○					
283		大万空気銃射撃場	郡上市八幡町島谷1139			○				

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
284	岐阜県公安委員会	岐阜県立郡上北高等学校エアライフル射撃場	郡上市白鳥町為真1265-2			○				
285		郡上総合射撃場	郡上市大和町栗巣1410-1	○	○					
286		岐阜県立関有知高等学校エアライフル射撃場	武儀郡武儀町富之保1864-1			○				
287		関国際射撃場	関市池尻字西大原1123-1	○						
288		岐阜県警察学校射撃場	関市希望ヶ丘町1			○	○	岐阜県警察学校長	1,507㎡	約2,500人
289		福地クレー射撃場	加茂郡八百津町福地字長根188-1	○						
290		白川射撃場	加茂郡白川町大字三川字西田2630	○						
291		土岐市総合射撃場	土岐市妻木町東山3020-35	○	○	○				
292		瑞浪市射撃場	瑞浪市土岐町8513-1	○						
293		中津川射撃場	中津川市中津川字塞ノ神3964-15	○		○				
294		恵那市射撃場	恵那市大井町奥戸2696-11	○						
295		岐阜県飛騨猟友会射撃場	高山市片野町2370	○	○					
296		愛知県公安委員会	大須射撃場	名古屋市中区大須2-18-7			○			
297			藤川射撃場	岡崎市藤川町字堤ヶ入38-1	○					
298	名古屋大学エアライフル射撃場		名古屋市中種区不老町1			○				
299	刈谷市体育館エアライフル射撃場		刈谷市逢妻町4-32			○				
300	愛知県警察学校射撃場		春日井市廻間町703			○	○	愛知県警察学校教務課警部補	2,577㎡	約9,100人
301	岡崎国際射撃場		岡崎市米河内町字楠形23	○						

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ライ フル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
302	愛知県公安委員会	愛知学院大学 ライフル射撃場	日進市岩崎町阿良池12			○				
303		愛知大学名古屋 校舎エア ライフル射撃場	西加茂郡三好町大字黒 笹字清水370			○				
304		愛知県総合射撃場	東加茂郡下山村大字宇 練野字ウネ畑12-95	○	○	○				
305		豊和工業(株)射撃場	西春日井郡新川町須ヶ 口1900		○	○				
306	三重県公安委員会	八風常設射撃場	三重郡菰野町大字田光 字横谷3699	○						
307		三重県警察学 校射撃場	津市高茶屋小森町大塚 3445			○	○	三重県 警察学 校長	1,003㎡ 約2,300人	
308		三重県営ライ フル射撃場	久居市中村町国守谷		○	○				
309		三重県上野射撃場	上野市蓮池大字媒部 978	○						
310	滋賀県公安委員会	琵琶湖国際射撃場	大津市仰木町字逢坂 7631-2	○						
311		滋賀県立ライ フル射撃場	大津市大石東町鉾峠 1005-2		○	○				
312		滋賀県警察学 校射撃場	大津市御陵町3-3			○		滋賀県 警察学 校長	955㎡ 約1,900人	
313	京都府公安委員会	國友銃砲火薬 店ライフル (エア)射撃場	京都市下京区寺町通綾 小路下る中之町583-4			○				
314		京都八瀬射撃場	京都市左京区上高野東 山72-85-86の合地		○	○				
315		京都大学エ アライフル 射撃場	京都市左京区北白川西 町 京都大学北部構内 農学部グラウンド東北隅			○				
316		京都産業大学 エアライフル 射撃場	京都市北区上賀茂本山 京都産業大学内			○				
317		同志社大学ラ イフル(ス モールポア) 射撃場	綴喜郡田辺町字普賢寺 小字下司		○	○				
318		京都笠取国際 射撃場	宇治市西笠取引坂1	○		○				
319		京都府立園部 高等学校射撃場	船井郡園部町小桜町97			○				

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
320	京都府公安委員会	京北総合射撃場	北桑田郡京北町大字下小字山作り1-2の合地	○	○					
321		京都府射撃場	北桑田郡京北町大字細野小字打谷1	○						
322		丹後クレー射撃クラブ岩屋射撃場	与謝郡野田川町字岩屋小字尼ヶ原61	○						
323	大阪府公安委員会	高槻国際射撃場	高槻市原桃山1358-8	○						
324		岸和田国際射撃場	岸和田市大沢町1802-1	○						
325		（株）大阪総合射撃場	泉南市新家4955	○	○	○				
326		大阪ライフル総合射撃場	豊能郡能勢町字山辺小字水木谷413-4		○	○	○			
327		能勢町ライフル射撃場	豊能郡能勢町山内19		○	○				
328		大阪府警察総合訓練センター	大東市龍間1110-1			○	○	大阪府警察本部警務部教養課長	4,611㎡	約23,200人
329		関西大学体育会射撃部学内射撃場	吹田市千里山東3-10-1			○				
330		大阪大学エアーライフル射撃場	吹田市山田丘1-1			○				
331		近畿大学エアーライフル射撃場	東大阪市宝持3-11-35			○				
332		箕面自由学園高等学校射撃場	豊中市宮山町4-148			○				
333	兵庫県公安委員会	須磨総合射撃場	神戸市西区伊川谷町布施畑下谷山991-10	○	○	○				
334		兵庫県クレー射撃場	神戸市西区平野町中津野田谷1280-1	○						
335		兵庫県クレー射撃協会姫路射撃場	姫路市別所町奥山字山の口170	○						
336		上郡クレー射撃場	赤穂郡上郡町竹万木/目谷1039-16	○						
337		葛蒲沢射撃場	朝来郡生野町栃原字フドノ1755		○					
338		関西学院大学体育会射撃部練習場	西宮市上ヶ原6,7,8			○				



番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
339	兵庫県公安委員会	甲南大学ライフル射撃場	神戸市東灘区向洋町中8-2			○				
340		陸上自衛隊久代射撃場	宝塚市山本野里3-48-1		○	○	○	千僧駐屯地業務隊長	約36,000㎡ 約9,600人	
341		兵庫県警察学校空気銃射撃場	芦屋市剣谷1			○		兵庫県警察学校長	1,455㎡ 約6,500人	
342	奈良県公安委員会	奈良県警察学校射撃場	奈良市南永井町乙33-1			○	○	奈良県警察学校長	7,096㎡ 約2,200人	
343		奈良県立山辺高等学校ライフル射撃場	天理市福住町7596			○				
344		奈良エアライフル射撃場	奈良市神殿町667-1			○				
345	和歌山県公安委員会	和歌山県ライフル射撃場	海南市高津字大北原1181		○	○	○			
346		田辺射撃場	田辺市稲成町動鳴気1634	○						
347		遊木射撃場	東牟婁郡那智勝浦町高津気114-1	○						
348		和歌山県警察学校射撃場	和歌山市木ノ本1445			○	○	和歌山県警察学校長	803㎡ 約2,000人	
349	鳥取県公安委員会	鳥取クレー射撃場	鳥取市覚寺768-1	○						
350		倉吉市営射撃場	倉吉市葵町字三本木690-1	○						
351		米子国際射撃場	西伯郡西伯町大字鶴部933	○						
352		鳥取県営ライフル射撃場	西伯郡西伯町大字猪小路806		○	○				
353	島根県公安委員会	島根県立ライフル射撃場	八東郡八雲村大字熊野351		○	○				
354		浜南学園空気銃射撃場	松江市大庭町宮山1794-2			○				
355		島根県警察学校けん銃射撃場	松江市浜佐陀町582-2				○	島根県警察学校長	1,195㎡ 約2,100人	
356		島根大東クレー射撃場	大原郡木次町大字山王寺1695	○						
357		出雲エアライフル射撃場	出雲市知井宮町216			○				
358		大田市猟友会クレー射撃場	大田市富山町山中字久谷2357-31	○						

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の利用者数
				散弾銃	ライフル銃	空気銃	けん銃			
359	島根県公安委員会	静間空気銃射撃場	邑智郡石見町大字日貫3033			○				
360		江津市射撃場	江津市島の星町1955-23	○						
361		浜田射撃場	浜田市後野町739-1	○						
362		隠岐島嶽友会飯山射撃場	隠岐郡西郷町大字岬町字飯の山1-2	○						
363	岡山県公安委員会	山陽クレー射撃場	赤磐郡山陽町西中1636-1	○						
364		備前射撃場	備前市大内1004-2	○						
365		備前倉敷国際射撃場	倉敷市福田町浦田岩瀬740-1	○		○				
366		湯原国際射撃場	真庭郡湯原町仲間1816	○						
367		御津ライフル射撃場	御津郡御津町伊田2291		○	○	○			
368		池の原射撃場	上房郡賀陽町田土2283-3	○						
369		北房クレー射撃場	上房郡北房町上水田7296-5	○						
370		加茂青柳射撃場	苫田郡加茂町青柳557-127	○						
371		岡山県クレー射撃場	御津郡御津町下田629	○						
372		岡山県ライフル射撃場(SBR射撃場)	岡山市横尾767-16		○		○			
373	岡山県ライフル射撃場(AR射撃場)					○				
374	葦ヶ波止エアライフル射撃場	倉敷市児島宇野津1880-10			○					
375	広島県公安委員会	つつがライフル射撃場	山県郡簡賀村大字上簡賀字猪股山919-33、44		○	○	○			
376		広島国際射撃場	安芸高田市八千代町向山大原60-12	○						
377		東城国際射撃場	比婆郡東城町大字川東字恵谷山70-5	○	○					
378		甲山国際射撃場	世羅郡甲山町大字川尻454-14	○						

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ライ フル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
379	山口県公安委員会	熊毛総合射撃場	周南市大字大河内字石ケ谷2055-2	○		○				
380		鹿野射撃場	周南市大字鹿野下字向ケ浴121	○						
381		宇部射撃場	宇部市大字善和字立山ケ浴752	○						
382		萩クレ射撃場	萩市大字山田2972	○						
383		下関クレ射撃場	下関市大字蒲生野字河内15-1	○	○	○				
384	徳島県公安委員会	大神子射撃場	徳島市大原町於庄谷12	○						
385		関根射撃場	徳島市二軒屋町3-33			○				
386		徳島県警察学校射撃場	徳島市論田町中開51-1			○	○	徳島県警察本部警務部教養課長	1,276㎡ 約1,700人	
387		一宮射撃場	徳島市一宮町紅葉山28-1 他	○		○				
388	徳島県公安委員会	徳島県立城北高等学校空気銃射撃場	徳島市北田宮4-13-6			○				
389		徳島A射撃場	徳島市庄町4-82-3			○				
390		徳島市ライフル射撃場	徳島市入田町内ノ御田348-1		○	○	○			
391		太田エアライフル射撃場	小松島市江田町字腰前177-3			○				
392		徳島県立小松島高等学校空気銃射撃場	小松島市日開野町字高須47-1			○				
393		鷺敷射撃場	那賀郡鷺敷町仁字学原98	○						
394		海南空気銃射撃場	海部郡海南町大里字松原31-14			○				
395	徳島県立穴吹クレ射撃場	美馬郡穴吹町口山字馬内1 他	○							
396	香川県警察学校射撃場	高松市郷東町587-1			○		香川県警察学校長	668㎡ 約1,400人		
397	香川県公安委員会	高松国際射撃場		○						
398		香川県ライフル射撃協会射撃場	綾歌郡国分寺町新名2215-5		○	○	○			

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ライ フル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
399	香川県公安委員会	香川県ライフル射撃協会エアーライフル射撃場	綾歌郡国分寺町新名2215-5			○				
400		香川県立高瀬高等学校射撃場	三豊郡高瀬町大字下勝間2093			○				
401	愛媛県公安委員会	四国中央射撃場	川之江市金生町山田井乙537-18	○	○	○				
402		東予クレー射撃場	周桑郡小松町大字明穂230 他	○						
403		今治桜井射撃場	今治市桜井長沢元瀬乙155-6156	○						
404		陸上自衛隊小野射撃場	松山市大字北梅本大尺寺		○	○		松山駐屯地業務隊長	約56,000㎡ 約4,600人	
405		犬寄国際クレー射撃場	伊予郡双海町上灘明神山戌997	○						
406		松山総合クレー射撃場	伊予郡砥部町万年877	○						
407		城川町総合クレー射撃場	東宇和郡城川町大字土居30-2			○				
408		鬼北クレー射撃場	北宇和郡広見町大字中野川乙15-7	○	○	○				
409	高知県公安委員会	ジャイアントクラブ射撃場	南国市岡豊町滝本字隅谷858	○						
410		聖ヶ丘射撃場	宿毛市押ノ川ホド打山	○						
411		竹村クレー射撃場	中村市山路中和田	○						
412		佐川射撃場	高岡郡佐川町乙645ニ、645ハ、4203	○						
413		高知クレー射撃場	香美郡土佐山田町新改三反山田100	○						
414		ニッサンミロク高知射撃場	安芸郡芸西村和喰204	○						
415		北幡射撃場	幡多郡十和村昭和字三島越438	○	○					
416		緋ミロク製作所射撃場	南国市篠原537-1		○					
417		高知県警察射撃場	南国市大そね甲1555-1			○	○	高知県警察学校長	94,000㎡ 約2,500人	
418		高知県立春野総合運動公園射撃場	吾川郡春野町芳原2485		○	○	○			

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ライ フル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
419	福岡県公安委員会	福岡県警察射撃場	福岡市西区今宿上ノ原4-1			○	○	福岡県警察本部教養課技術科指導係長	1,703㎡	約8,000人
420		福岡県立総合射撃場	筑紫野市大字袖須原223-25	○	○	○				
421		福岡県立太宰府高校射撃場	太宰府市高雄3-4114			○				
422		九州国際大学若松グラウンド射撃場	北九州市若松区置住878-11			○				
423		アキュラシイ・シューティング・トレーニング・プレイス	飯塚市大字鯉田2340-1			○				
424		ヤナガワ・エアライフル・トレーニング・ルーム	山門郡三橋町大字起田521-8			○				
425	佐賀県公安委員会	佐賀県総合運動場エアライフル射撃場	佐賀市日の出2-1-10			○				
426		佐賀県射撃研修センター	佐賀郡大和町大字久池井3669	○	○					
427		伊万里市クレ射撃場	伊万里市大川内町丙668-1	○						
428		鳥栖散弾銃射撃場	鳥栖市山都町1666	○		○				
429	長崎県公安委員会	長崎県立長崎東高等学校射撃場	長崎市立山5-13-1			○				
430		長崎県立長崎南高等学校射撃場	長崎市上小島4-13-1			○				
431		長崎県小江原射撃場（バツフル式）	長崎市小江原5-1-10		○	○				
432		長崎県小江原射撃場				○				
433		長崎県立長崎北高等学校射撃場	長崎市小江原1-1-1			○				
434		長崎県琴の海クレ射撃場	西彼杵郡琴海町形上郷大開字795	○						

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
435	長崎県公安委員会	長崎県立島原工業高等学校射撃場	島原市本光寺町4353			○				
436		陸上自衛隊大村駐屯地大村射撃場	大村市西乾馬場416		○			大村駐屯地 (約323,000㎡) の一部	約6,200人	
437		長崎県立佐世保北高等学校射撃場	佐世保市八幡町6-31			○				
438	熊本県公安委員会	熊本県総合射撃場	上益城郡益城町大字砥川字日平3586	○	○	○				
439		人吉射撃場	人吉市上林町字含谷又595	○						
440		芦北町営湯浦温泉射撃場	葦北郡芦北町大字湯治2-1	○						
441		八代日奈久射撃場	八代市日奈久新田町字田ノ川2027	○		○				
442		下業射撃場	阿蘇郡小国町大字黒淵字下業5036-29	○						
443		上球磨射撃場	球磨郡多良木町大字黒肥地千里内9754	○						
444		天草クレー射撃倶楽部本渡射撃場	本渡市志柿町瀬戸	○						
445		玉名クレー射撃場	玉名市石貫字小代662	○						
446		陸上自衛隊北熊本ライフル(覆道式)射撃場	熊本市八景水谷2-17-1		○			北熊本駐屯地 (約648,000㎡) の一部	約12,100人	
447		熊本クレー射撃場	下益城郡富合町平原1776	○						
448	崇城大学射撃場	熊本市池田4-22-1		○	○					
449	大分県公安委員会	別府市営湯山クレー射撃場	別府市大字野田1203	○						
450		大分射撃場	大野郡犬飼町大字西寒田107-2	○						
451		大分県立庄内屋内競技場	大分郡庄内町大字大龍1314		○	○	○			
452		玖珠クレー射撃場	玖珠郡玖珠町大字太田2577	○						
453	宮崎県公安委員会	宮崎ライフル射撃競技場	宮崎郡田野町乙4765-1		○	○				
454		小林市クレー射撃場	小林市大字北西方3区	○						
455		延岡射撃場	延岡市愛宕山横谷180	○						

番号	指定者	名称	所在地	指定に係る銃砲の種類				管理者	面積	平成15年度の 利用者数
				散 弾 銃	ラ イ フ ル 銃	空 気 銃	け ん 銃			
456	宮崎県公安委員会	えびの射撃場	えびの市大字浦365-119	○						
457		上村クレ射撃場	南那珂郡北郷町倉迫内之野	○						
458		宮崎クレ射撃場	宮崎市大字大瀬町字梅木谷4346	○	○					
459		宮崎遠山クレ射撃場	宮崎市大字広原塚森2201	○						
460		日向石川クレ射撃場	日向市西川内字打折木2963-2	○						
461	鹿児島県公安委員会	鹿児島県ライフル射撃場	鹿児島市犬迫町6313		○	○				
462		(有)鹿児島射撃場	鹿児島市犬迫町1219	○						
463		加治木クレ射撃場	始良郡加治木町小山田窪原1022	○						
464		須々原クレ射撃場	鹿児島市平川町6114	○						
465		南日本総合クレ射撃場	肝属郡串良町柴差5796	○						
466		大隈散弾銃射撃場	曾於郡大隅町中之内4216-7	○						
467	沖縄県公安委員会	沖縄ライフル射撃場	那覇市字銘苅227-1		○	○	○			
468		沖縄県ライフル射撃場	島尻郡大里字大里1329		○	○				
469		沖縄県警察学校射撃場	石川市字石川3402				○	沖縄県警察学校長	1,111㎡ 約2,200人	

別表第五 指定射撃場ではない自衛隊、海上保安庁及び警察が管理している射撃場

## 1 自衛隊

番号	都道府県	名称	所在地	管理者	面積	平成15年度の 利用者数	平成15年度 の発射数
1	北海道	陸上自衛隊 北海道大演習場 島松地区	北海道恵庭市桜森	北恵庭駐屯地業務隊長	約33,695,000㎡	約42,100人	
2		陸上自衛隊 北海道大演習場 島松着弾地	北海道恵庭市桜森	北恵庭駐屯地業務隊長	約15,346,000㎡	島松地区に含む	
3		陸上自衛隊 北海道大演習場 東千歳地区	北海道千歳市中央	東千歳駐屯地業務隊長	約9,667,000㎡	約35,300人	
4		陸上自衛隊 名寄駐屯地鬼志 別演習場	北海道宗谷郡猿払 村字チライベツ	名寄駐屯地業務隊長	約14,925,000㎡	約200人	
5		陸上自衛隊 上富良野駐屯地 上富良野演習場	北海道空知郡上富 良野町上富良野	上富良野駐屯地業務隊長	約38,000,000㎡	約16,100人	
6		陸上自衛隊 真駒内駐屯地真 駒内射撃場	北海道札幌市豊平 区西岡	真駒内駐屯地業務隊長	約1,567,000㎡	約29,600人	
7		陸上自衛隊 別海駐屯地矢臼 別演習場	北海道野付郡別海 町矢臼別	別海駐屯地業務隊長	約167,725,000㎡	約54,500人	
8		陸上自衛隊 鹿追駐屯地然別 演習場	北海道河東郡鹿追 町字瓜幕	鹿追駐屯地業務隊長	約33,193,000㎡	約56,400人	
9		陸上自衛隊 名寄駐屯地名寄 射撃場	北海道名寄市瑞穂	名寄駐屯地業務隊長	約235,000㎡	約7,900人	
10		陸上自衛隊 留萌駐屯地留萌 射撃場	北海道留萌市留萌 町エトウエンベツ	留萌駐屯地業務隊長	約75,000㎡	約300人	
11		陸上自衛隊 旭川駐屯地鷹栖 射撃場	北海道上川郡鷹栖 町14線3号	旭川駐屯地業務隊長	約417,000㎡	約10,400人	
12		陸上自衛隊 滝川駐屯地新十 津川射撃場	北海道樺戸郡新十 津川町字総進	滝川駐屯地業務隊長	約159,000㎡	約6,700人	
13		陸上自衛隊 上富良野駐屯地 上富良野射撃場	北海道空知郡上富 良野町上富良野	上富良野駐屯地業務隊長	約14,000㎡	約3,100人	
14		陸上自衛隊 静内対空射撃場	北海道静内郡静内 町字浦和	静内駐屯地業務隊長	約259,000㎡	約25,100人	
15		陸上自衛隊 北海道大演習場 千歳小火器射撃場	北海道千歳市駒の 里東口町字上アビ ラ	東千歳駐屯地業務隊長	約15,114,000㎡	約49,100人	
16		陸上自衛隊 幌別駐屯地幌別 射撃場	北海道登別市千歳 町	幌別駐屯地業務隊長	約45,000㎡	0人	
17		陸上自衛隊 倶知安駐屯地俱 知安射撃場	北海道虻田郡俱知 安町比羅夫	倶知安駐屯地業務隊長	約105,000㎡	約2,400人	



番号	都道府県	名称	所在地	管理者	面積	平成15年度の 利用者数	平成15年度 の発射数
18	北海道	陸上自衛隊 函館駐屯地亀田 射撃場	北海道函館市東山 町122-1	函館駐屯地 業務隊長	約103,000㎡	約5,000人	
19		陸上自衛隊 遠軽駐屯地遠軽 射撃場	北海道紋別郡遠軽 町トーウンナイ	遠軽駐屯地 業務隊長	約112,000㎡	約5,000人	
20		陸上自衛隊 美幌駐屯地美幌 射撃場	北海道網走郡美幌 町字田中	美幌駐屯地 業務隊長	約85,000㎡	約1,900人	
21		陸上自衛隊 釧路駐屯地別保 射撃場	北海道釧路郡釧路 町字別保	釧路駐屯地 業務隊長	約147,000㎡	約3,700人	
22		陸上自衛隊 帯広駐屯地幕別 射撃場	北海道中川郡幕別 町字千住	帯広駐屯地 業務隊長	約61,000㎡	0人	
23		陸上自衛隊 島松駐屯地	北海道恵庭市西島 松	北海道補給 処長	約651,000㎡	約10人	約400発
24		航空自衛隊 千歳基地	北海道千歳市平和	千歳基地司 令	約9,864,000㎡	約2,200人	
25		航空自衛隊 三沢基地稚内分 屯基地	北海道稚内市ノ シャップ	三沢基地司 令	約1,172,000㎡	0人	
26		航空自衛隊 三沢基地奥尻島 分屯基地	北海道奥尻郡奥尻 町神威山	三沢基地司 令	約408,000㎡	約100人	
27	青森県	陸上自衛隊 青森駐屯地丸山 射撃場	青森県青森市大字 三内字丸山413-3	青森駐屯地 業務隊長	約110,000㎡	約1,100人	
28		陸上自衛隊 弘前演習場	青森県中津軽郡西 目屋村大字白沢字 山内33-3	弘前駐屯地 業務隊長	約4,838,000㎡	約4,600人	
29		陸上自衛隊 六ヶ所対空射撃 場	青森県上北郡六ヶ 所村大字泊字川原	八戸駐屯地 業務隊長	約235,000㎡	約2,100人	
30		陸上自衛隊 八戸駐屯地	青森県八戸市大字 市川町字桔梗野官 地	八戸駐屯地 業務隊長	約3,661,000㎡	約5,200人	
31		海上自衛隊 大湊地方總監部 芦崎訓練場	青森県むつ市大字 城ヶ沢字早崎ノ内 芦崎20	大湊地方総 監	約673,000㎡	約2,900人	
32		航空自衛隊 三沢基地東北町 分屯基地	青森県上北郡東北 町字細津80のうち 外1	三沢基地司 令	約2,743,000㎡	0人	
33		岩手県	陸上自衛隊 岩手山中演習場	岩手県岩手郡滝沢 村大字滝沢第25地 割字後394	岩手駐屯地 業務隊長	約22,867,000㎡	約13,900人
34	陸上自衛隊 岩手駐屯地滝沢 射撃場		岩手県岩手郡滝沢 村滝沢字大石渡 332-3	岩手駐屯地 業務隊長	約308,000㎡	約8,400人	

番号	都道府県	名称	所在地	管理者	面積	平成15年度の 利用者数	平成15年度の 発射数
35	宮城県	陸上自衛隊 王城寺原演習場	宮城県黒川郡大和 町吉田	大和駐屯地 業務隊長	約46,444,000㎡	約42,800人	
36		陸上自衛隊 多賀城駐屯地地利 府射撃場	宮城県宮城郡利府 町大字春日字黒森 16	多賀城駐屯地 業務隊長	約490,000㎡	約5,900人	
37		航空自衛隊 松島基地	宮城県桃生郡矢本 町矢本	松島基地司令	約3,651,000㎡	約1,300人	
38	山形県	陸上自衛隊 神町駐屯地東根 射撃場	山形県東根市大字 東根元原方	神町駐屯地 業務隊長	約42,000㎡	約8,900人	
39	福島県	陸上自衛隊 白河布引山演習 場	福島県西白河郡西 郷村大字鶴生	郡山駐屯地 業務隊長	約19,721,000㎡	約2,900人	
40		陸上自衛隊 福島駐屯地福島 射撃場	福島県福島市荒井 字地蔵原78	福島駐屯地 業務隊長	約74,000㎡	約10,600人	
41	茨城県	陸上自衛隊 勝田駐屯地長岡 射撃場	茨城県東茨城郡茨 城町長岡	施設学校長	約41,000㎡	約1,000人	
42		陸上自衛隊 土浦駐屯地舟島 射撃場	茨城県稲敷郡阿見 町掛馬	武器学校長	約59,000㎡	約200人	
43		陸上自衛隊 霞ヶ浦駐屯地	茨城県土浦市右 町2400	霞ヶ浦駐屯地 業務隊長	約466,000㎡	約100人	約1,800発
44		航空自衛隊 百里基地	茨城県東茨城郡小 川町	百里基地司令	約4,251,000㎡	約1,000人	
45	栃木県	陸上自衛隊 宇都宮駐屯地	栃木県宇都宮市茂 原1-5-45	宇都宮駐屯地 業務隊長	約828,000㎡	約10,400人	
46	群馬県	陸上自衛隊 相馬原演習場	群馬県群馬郡箕郷 町松之沢	相馬原駐屯地 業務隊長	約6,328,000㎡	約8,000人	
47		陸上自衛隊 新町駐屯地吉井 弾薬支処	群馬県多野郡吉井 町馬庭	新町駐屯地 業務隊長	約1,036,000㎡	約1,700人	約66,100発
48	埼玉県	陸上自衛隊 朝霞訓練場	埼玉県新座市	朝霞駐屯地 業務隊長	約721,000㎡	約25,700人	
49		航空自衛隊 入間基地	埼玉県狭山市稲荷 山2-3	入間基地司令	約2,684,000㎡	約3,700人	
50	千葉県	陸上自衛隊 習志野演習場	千葉県船橋市習志 野	習志野駐屯地 業務隊長	約2,208,000㎡	約18,400人	
51		海上自衛隊 館山航空基地	千葉県館山市宮城	第21航空 群司令	約1,106,000㎡	約1,000人	
52		海上自衛隊 下総航空基地	千葉県東葛飾郡沼 南町	下総教育航 空群司令	約2,619,000㎡	約3,300人	
53	神奈川県	陸上自衛隊 武山駐屯地長坂 射撃場	神奈川県横須賀市 長坂3-33-1	武山駐屯地 業務隊長	約97,000㎡	約15,700人	

番号	都道府県	名称	所在地	管理者	面積	平成15年度の 利用者数	平成15年度 の発射数
54	新潟県	陸上自衛隊 新発田駐屯地大 日原演習場	新潟県北蒲原郡笹 神村大室大日	新発田駐屯 地業務隊長	約1,232,000㎡	約4,700人	
55		陸上自衛隊 高田駐屯地関山 演習場	新潟県中頸城郡妙 高村大字関山字武 蔵野6751	高田駐屯地 業務隊長	約15,674,000㎡	約8,400人	
56		陸上自衛隊 高田駐屯地上湯 谷射撃場	新潟県上越市大字 上湯谷字耕地35-1	高田駐屯地 業務隊長	約426,000㎡	約4,500人	
57		航空自衛隊 佐渡分屯基地	新潟県佐渡市北新 保丙2-27	入間基地司 令	約453,000㎡	約200人	
58	山梨県	陸上自衛隊 北富士駐屯地北 富士演習場	山梨県富士吉田市 外	北富士駐屯 地業務隊長	約45,975,000㎡	約10,700人	
59	長野県	陸上自衛隊 松本駐屯地松本 射撃場	長野県上伊那郡辰 野町小野区駒沢	松本駐屯地 業務隊長	約138,000㎡	約3,300人	
60	静岡県	陸上自衛隊 富士駐屯地東富 士演習場	静岡県御殿場市外	富士学校長	約88,363,000㎡	約83,700人	
61		陸上自衛隊 富士駐屯地富士 射撃場	静岡県駿東郡小山 町須走凸凹山精進 川	富士学校長	約242,000㎡	0人	
62		航空自衛隊 浜松基地	静岡県浜松市西山 町	浜松基地司 令	約3,074,000㎡	約1,300人	
63	石川県	陸上自衛隊 金沢駐屯地三小 牛山射撃場	石川県金沢市大桑 町開1	金沢駐屯地 業務隊長	約20,000㎡	約3,800人	
64		航空自衛隊 小松基地	石川県小松市向本 折町	小松基地司 令	約3,923,000㎡	約1,500人	
65	岐阜県	陸上自衛隊 守山駐屯地日野 射撃場	岐阜県岐阜市大字 日野南9-7-3	守山駐屯地 業務隊長	約66,000㎡	約3,800人	
66		航空自衛隊 岐阜基地	岐阜県各務原市那 加	岐阜基地司 令	約3,703,000㎡	約2,000人	
67	愛知県	陸上自衛隊 高山射撃場	愛知県豊橋市飯村 町字高山	豊川駐屯地 業務隊長	約90,000㎡	0人	
68	三重県	陸上自衛隊 久居駐屯地久居 射撃場	三重県一志郡一志 町大字小山字長谷	久居駐屯地 業務隊長	約65,000㎡	約14,500人	
69	滋賀県	陸上自衛隊 養庭野演習場	滋賀県高島郡今津 町	今津駐屯地 業務隊長	約24,604,000㎡	約14,100人	
70		陸上自衛隊 今津駐屯地養庭 野射撃場	滋賀県高島郡今津 町大字今津字南大 林2156	今津駐屯地 業務隊長	約94,000㎡	約4,600人	
71		陸上自衛隊大津 駐屯地滋賀里訓 練場	滋賀県大津市志賀 里町3丁目字北ノ海 道348-1	大津駐屯地 業務隊長	約45,000㎡	0人	

番号	都道府県	名称	所在地	管理者	面積	平成15年度の 利用者数	平成15年度 の発射数
72	京都府	陸上自衛隊 福知山駐屯地福 知山射撃場	京都府福知山市宇 室小字赤坂100-6	福知山駐屯 地業務隊長	約72,000㎡	約3,200人	
73		陸上自衛隊 大久保駐屯地長 池射撃場	京都府城陽市長池	大久保駐屯 地業務隊長	約37,000㎡	約8,600人	
74		海上自衛隊舞鶴 地方総監部大波 射撃場	京都府舞鶴市大字 大波	舞鶴地方総 監	約199,000㎡	約4,200人	
75	大阪府	陸上自衛隊 信太山駐屯地信 太山射撃場	大阪府和泉市尾井 町	信太山駐屯 地業務隊長	約40,000㎡	約5,500人	
76	兵庫 県	陸上自衛隊 青野ヶ原演習場	兵庫県小野市河合 西町	青野原駐屯 地業務隊長	約6,092,000㎡	約300人	
77		陸上自衛隊 姫路駐屯地姫路 射撃場	兵庫県姫路市飾東 町唐端新字北裏山 338-3	姫路駐屯地 業務隊長	約71,000㎡	約900人	
78	奈良 県	航空自衛隊 奈良基地藤原射 撃場	奈良県奈良市藤原 町字上矢口377	奈良基地司 令	約22,000㎡	0人	
79	和歌 山県	航空自衛隊 入間基地串本分 屯基地	和歌山県西牟婁郡 串本町須江字一ッ 松1383-12	入間基地司 令	約99,000㎡	約100人	
80	鳥取 県	陸上自衛隊 米子駐屯地米子 射撃場	鳥取県米子市河崎 3286-1	米子駐屯地 業務隊長	約52,000㎡	約5,100人	
81	島根 県	陸上自衛隊 出雲駐屯地出雲 射撃場	島根県出雲市下古 志町奥分1501	出雲駐屯地 業務隊長	約57,000㎡	約1,300人	
82	岡山 県	陸上自衛隊 日本原演習場	岡山県勝田郡奈義 町	日本原駐屯 地業務隊長	約19,535,000㎡	約5,200人	
83	広島 県	陸上自衛隊 原村演習場	広島県東広島市八 本松町原	海田市駐屯 地業務隊長	約2,874,000㎡	約5,600人	
84		海上自衛隊 第1術科学学校長 浜射撃場	広島県安芸郡江田 島町無番地	第1術科学 学校長	約310,000㎡	約8,300人	
85	山口 県	陸上自衛隊 山口駐屯地山口 射撃場	山口県山口市大字 宮野下	山口駐屯地 業務隊長	約63,000㎡	約5,500人	
86		海上自衛隊 小月基地小月射 撃場	山口県下関市大字 松屋	小月教育航 空群司令	約74,000㎡	約900人	
87	香川 県	陸上自衛隊 普通寺駐屯地普 通寺射撃場	香川県普通寺市普 通寺町字程坂3670- 1	普通寺駐屯 地業務隊長	約6,000㎡	0人	
88		陸上自衛隊 普通寺駐屯地高 屋射撃場	香川県坂出市高屋 町字東山2049-2	普通寺駐屯 地業務隊長	約281,000㎡	0人	
89		陸上自衛隊 福岡駐屯地福岡 射撃場	福岡県大野城市大 字牛頭	福岡駐屯地 業務隊長	約130,000㎡	約2,800人	

番号	都道府県	名称	所在地	管理者	面積	平成15年度の 利用者数	平成15年度 の発射数
90	福岡県	陸上自衛隊 小郡駐屯地桜谷 射撃場	福岡県筑紫野市大 字山家字鳥越	小郡駐屯地 業務隊長	約250,000㎡	0人	
91		陸上自衛隊 前川原駐屯地藤 山射撃場	福岡県久留米市藤 山	幹部候補生 学校長	約568,000㎡	約8,400人	
92		陸上自衛隊 小倉駐屯地曾根 訓練場	福岡県北九州市小 倉南区曾根町大 字吉田1887	小倉駐屯地 業務隊長	約175,000㎡	約9,100人	
93		航空自衛隊 築城基地	福岡県築上郡椎田 町無番地	築城基地司 令	約2,491,000㎡	約1,900人	
94	長崎県	陸上自衛隊 大村駐屯地大野 原演習場	長崎県東彼杵郡東 彼杵町	大村駐屯地 業務隊長	約6,078,000㎡	約2,500人	
95		陸上自衛隊 対馬駐屯地对馬 射撃場	長崎県対馬市美津 島町鷄知字久須原	対馬警備隊 長	約474,000㎡	約900人	
96		陸上自衛隊 相浦駐屯地早岐 射撃場	長崎県佐世保市有 福町	相浦駐屯地 業務隊長	約771,000㎡	約9,300人	
97		海上自衛隊 佐世保教育隊	長崎県佐世保市崎 辺町	佐世保地方 総監	約196,000㎡	約5,900人	
98	熊本県	陸上自衛隊 北熊本駐屯地大 矢原演習場	熊本県上益城郡矢 部町水之田尾	北熊本駐屯 地業務隊長	約16,380,000㎡	約29,400人	
99	大分県	陸上自衛隊 別府駐屯地十文 字原演習場	大分県速見郡日出 町南畑	別府駐屯地 業務隊長	約6,440,000㎡	約17,200人	
100		陸上自衛隊 湯布院駐屯地日 出生台演習場	大分県玖珠郡玖珠 町日出生	湯布院駐屯 地業務隊長	約49,903,000㎡	約59,700人	
101	宮崎県	陸上自衛隊 えびの駐屯地霧 島演習場	宮崎県えびの市大 字西長江浦	えびの駐屯 地業務隊長	約10,885,000㎡	約1,700人	
102		航空自衛隊 新田原基地	宮崎県児湯郡新富 町大字新田1070-3	新田原基地 司令	約2,839,000㎡	約1,000人	
103	鹿児島県	陸上自衛隊 都城駐屯地高ノ 峰射撃場	鹿児島県曾於郡末 吉町岡下1770	都城駐屯地 業務隊長	約352,000㎡	約5,800人	
104		陸上自衛隊 国分駐屯地佐多 射撃場	鹿児島県肝属郡佐 多町辺塚字松橋 2148-2	国分駐屯地 業務隊長	約284,000㎡	約2,800人	
105		陸上自衛隊 国分駐屯地国分 射撃場	鹿児島県国分市大 字川原字小土手	国分駐屯地 業務隊長	約98,000㎡	約5,800人	
106		海上自衛隊 鹿屋航空基地	鹿児島県鹿屋市西 原3-11	第1航空群 司令	約3,959,000㎡	約1,600人	
107	沖縄県	陸上自衛隊 那覇駐屯地勝連 高射教育訓練場	沖縄県中頭郡勝連 町字内間仲間屋原 2530	第1混成団 長	約172,000㎡	約5,700人	

注1 「名称」欄については、国有財産台帳上の口座名を記載した。

注2 「名称」、「管理者」及び「所在地」欄については平成16年3月31日現在のもので、「面積」欄に

については平成15年3月31日現在のものである。

注3 「平成15年度の利用者数」欄については、平成15年度の実績を概数で示した。

注4 「平成15年度の利用者数」欄の0人については、平成15年度中未使用を示す。

注5 陸上自衛隊朝霞訓練場及び陸上自衛隊高田駐屯地関山演習場の面積については、指定射撃場の面積を含む。

注6 陸上自衛隊高田駐屯地関山演習場の利用者数については、指定射撃場における利用者数を含む。

2 海上保安庁

番号	都道府県	名称	所在地	管理者	面積	平成15年度の 利用者数
1	神奈川県	横浜海上保安部	神奈川県横浜市中区新港1-2-1	横浜海上保安部長	897㎡	約1,600人
2	京都府	海上保安学校	京都府舞鶴市長浜2001	海上保安学校長	635㎡	約1,400人
3	広島県	海上保安大学校	広島県呉市若葉町5-1	海上保安大学校長	597㎡	約900人

注 「平成15年度の利用者数」欄については、平成15年度の実績を概数で示した。

3 警察

番号	都道府県	名称	所在地	管理者	面積	平成15年度の 利用者数
1	北海道	北海道警察学校けん銃射撃場	札幌市南区真駒内17	北海道警察本部長	1,471㎡	約5,300人
2		北海道警察学校函館方面分校けん銃射撃場	函館市金堀町48-2	北海道警察本部長	672㎡	約1,000人
3		北海道警察学校旭川方面分校けん銃射撃場	旭川市住吉7条1-3-2	北海道警察本部長	690㎡	約1,300人
4		北海道警察学校釧路方面分校けん銃射撃場	釧路市大条毛南2-2-9	北海道警察本部長	672㎡	約1,000人
5		北海道警察学校北見方面分校けん銃射撃場	北見市三輪449-26	北海道警察本部長	690㎡	約700人
6	青森県	八戸警察署射撃場	八戸市城下1-16-25	青森県警察八戸警察署長	360㎡	約500人
7	宮城県	東北管区警察学校射撃場	多賀城市丸山1-1-1	東北管区警察学校長	1,218㎡	約1,100人
8		宮城県警察学校射撃場	名取市愛島笠島字東台17	宮城県警察学校長	2,002㎡	約2,800人
9	山形県	警察学校射撃場	天童市大字荒谷820	山形県警察学校長	608㎡	約1,600人
10		鶴岡警察署地下射撃場	鶴岡市道形町20-40	山形県警察鶴岡警察署長	505㎡	約400人
11		南陽警察署地下射撃場	南陽市柵塚1618	山形県警察南陽警察署長	573㎡	約300人
12	福島県	郡山北警察署射撃場	郡山市富田町字下曲田2-8	福島県警察郡山北警察署長	579㎡	約800人
13		いわき中央警察署射撃場	いわき市好間町北好間字下ヶ屋敷1-9地内山林	福島県警察いわき中央警察署長	1,098㎡	約300人
14	東京都	警察大学校射撃場	府中市朝日町3-12-1	警察大学校長	1,660㎡	約3,000人
15		関東管区警察学校第三射撃場	小平市喜平町2-5-1	関東管区警察学校長	1,273㎡	0人
16		警視庁警察学校射撃場	府中市朝日町3-15-1	警視庁警察学校庶務部長	3,072㎡	約18,300人
17		警視庁調布警察署射撃場	調布市国領町2-25-1	警視庁調布警察署長	474㎡	約1,100人
18		皇宮警察本部射撃場	港区元赤坂2-1-9	皇宮警察本部警務部教養課長	643㎡	約1,700人
19	埼玉県	警察学校射撃場	さいたま市北区植竹町1-804	埼玉県警察学校長	3,471㎡	約22,700人
20		川越警察署射撃場	川越市大字大仙波410-1	埼玉県警察川越警察署長	335㎡	約2,500人
21		草加警察署射撃場	草加市花栗3-2-23	埼玉県警察草加警察署長	300㎡	約1,600人



番号	都道府県	名称	所在地	管理者	面積	平成15年度の 利用者数
22	千葉県	千葉県警察多古訓練場	香取郡多古町一畷田33	千葉県警察本部総務部会計課長	89,808㎡	約600人
23	神奈川県	神奈川県警察射撃場	横浜市栄区上郷町1575-1	神奈川県警察本部警務部教養課長	2,318㎡	約10,800人
24		小田原警察署射撃場	小田原市荻窪350-1	神奈川県警察小田原警察署長	270㎡	0人
25	新潟県	新潟県警察学校射撃場	新潟市小新西2-2788-1	新潟県警察本部長	867㎡	約3,000人
26	長野県	茅野警察署けん銃射撃場	茅野市本町西9-39	長野県警察茅野警察署長	384㎡	約600人
27		駒ヶ根警察署簡易射撃場	上伊那郡宮田村字掃命山4750-2	長野県警察駒ヶ根警察署長	1,048㎡	約50人
28		飯田警察署簡易射撃場	飯田市上郷黒田一の沢3840	長野県警察飯田警察署長	661㎡	約100人
29		阿南警察署簡易射撃場	下伊那郡泰阜村(新井沢)8422番口	長野県警察阿南警察署長	165㎡	約30人
30		大町警察署簡易射撃場	大町市大字大町8293-1	長野県警察大町警察署長	160,000㎡	約60人
31	静岡県	静岡県警察学校射撃場	藤枝市下之郷1685-1	静岡県警察学校長	1,870㎡	約4,500人
32	石川県	石川県警察学校射撃場	金沢市小立野1-262	石川県警察本部長	1,038㎡	約1,200人
33		石川県警察本部庁舎地下射撃場	金沢市鞍月1-1	石川県警察本部長	98㎡	約300人
34	愛知県	中部管区警察学校射撃場	小牧市下末1551	中部管区警察学校長	1,089㎡	約2,000人
35	京都府	京都府警察射撃場	京都市伏見区深草官有地	京都府警察本部警務部教養課長	1,866㎡	約3,900人
36	大阪府	大阪府警察学校射撃場	交野市東倉治2-18-3	大阪府警察学校長	1,600㎡	約7,700人
37		近畿管区警察学校射撃場	堺市長曾根町1179-4	近畿管区警察学校長	2,099㎡	約5,400人
38	鳥取県	鳥取県警察学校射撃場	鳥取市伏野46-5	鳥取県警察学校長	868㎡	約2,500人
39	島根県	江津警察署簡易射撃場	江津市敬川町2150	島根県警察江津警察署長	3,000㎡	約300人
40		西郷警察署簡易射撃場	隠岐郡西郷町大字岬町字飯ノ山1-2	島根県警察西郷警察署長	1,084㎡	約40人
41	岡山県	岡山県警察学校射撃場	岡山市玉柏2756	岡山県警察学校長	1,235㎡	約2,100人
42	広島県	中国管区警察学校射撃場	広島市南区霞1-3-5	中国管区警察学校指導部長	915㎡	約8,800人
43	山口県	山口県警察学校けん銃射撃場	山口市大字仁保下郷字上高野1459	山口県警察本部長	1,058㎡	約1,700人
44	香川県	四国管区警察学校射撃場	普通寺市生野町2116	四国管区警察学校長	821㎡	約400人
45	愛媛県	愛媛県警察学校けん銃射撃場	伊予郡松前町大字西古泉字恵美寿610	愛媛県警察本部長	608㎡	約2,500人
46	福岡県	福岡県警察学校射撃場	福岡市中央区平和5-14-1	福岡県警察本部長	910㎡	約15,000人
47		九州管区警察学校射撃場	福岡市博多区板付6-1-1	九州管区警察学校長	1,078㎡	約1,300人
48	佐賀県	佐賀県警察学校射撃場	佐賀市日の出1-20-14	佐賀県警察本部長	1,069㎡	約1,400人

番号	都道府県	名称	所在地	管理者	面積	平成15年度の 利用者数
49	長崎県	長崎県警察学校射撃場	長崎市小江原5-1-1	長崎県警察本部長	777㎡	約2,200人
50	熊本県	熊本県警察学校けん銃射撃場	熊本市渡鹿4-2-1	熊本県警察学校長	1,471㎡	約1,900人
51	大分県	大分県警察学校射撃場	大分郡野津原町福宗2301-4	大分県警察学校長	1,483㎡	約1,600人
52	宮崎県	警察学校教場別館	宮崎市大坪東1-1-35	宮崎県警察本部長	755㎡	約1,400人
53	鹿児島県	鹿児島県警察学校けん銃射撃場	鹿児島市坂元町784	鹿児島県警察学校長	1,240㎡	約2,200人

注1 「平成15年度の利用者数」欄については、平成15年度の実績を概数で示した。

注2 関東管区警察学校第三射撃場については、平成15年度中未使用。

注3 神奈川県小田原警察署射撃場については、平成16年4月から運用開始。

別表第六 自衛隊、海上保安庁及び警察がそれぞれ年間に使用する鉛を含む銃弾の量（平成11年度～平成15年度）

機 関	年 度	使 用 量
自 衛 隊	平成11年度	約230トン
	平成12年度	約190トン
	平成13年度	約220トン
	平成14年度	約200トン
	平成15年度	約220トン
海上保安庁	平成11年度	約2トン
	平成12年度	約2トン
	平成13年度	約3トン
	平成14年度	約2トン
	平成15年度	約3トン
警 察	平成14年度	約120トン
	平成15年度	約130トン

注) 警察の平成11年度から平成13年度までについては、銃弾使用量算出の基となるけん銃射撃訓練関係文書を、保存期間満了につき廃棄していることから、回答が不可能である。

別表第七 自衛隊が年間に使用する鉛を含む砲弾の量（平成11年度～平成15年度）

年 度	使 用 量
平成11年度	約60トン
平成12年度	約20トン
平成13年度	約50トン
平成14年度	約30トン
平成15年度	約10トン

別表第八 試験又は研究のため銃砲を所持する国又は地方公共団体の職員等が、その所持に係る銃砲を用いて行う射撃の用に供される施設

番号	都道府県	名称	管理者
1	北海道	北海道警察本部科学捜査研究所試射室	科学捜査研究所長
2		北海道警察函館方面本部鑑識課科学捜査研究室工学室	鑑識課長
3		北海道警察旭川方面本部鑑識課科学捜査研究室物理鑑定室	鑑識課長
4		北海道警察北見方面本部鑑識課科学捜査研究室工学実験室	鑑識課長
5	青森県	防衛庁技術研究本部下北試験場	下北試験場長
6		青森県警察本部科学捜査研究所物理鑑定室	科学捜査研究所長
7	岩手県	岩手県警察本部科学捜査研究所試射室、試射水槽室	科学捜査研究所長
8	宮城県	宮城県警察本部科学捜査研究所銃器検査室、試射水槽室	科学捜査研究所長
9	山形県	山形県警察本部科学捜査研究所銃器試射室	科学捜査研究所長
10	福島県	福島県警察本部科学捜査研究所銃器試射室	科学捜査研究所長
11		日本工機(株)白河製造所	
12	東京都	警視庁科学捜査研究所試射室	科学捜査研究所長
13		警察庁会計課工場試射場	会計課長
14		住友重機械工業(株)あきるの工場試験場	
15		ミネベア(株)大森製作所	
16	茨城県	技術研究本部土浦試験場	土浦試験場長
17		茨城県警察本部科学捜査研究所銃器試射室	科学捜査研究所長
18		旭エスケー(株)	
19	栃木県	栃木県警察本部科学捜査研究所銃器試射室	科学捜査研究所長
20	群馬県	群馬県警察本部科学捜査研究所射場、試射水槽	科学捜査研究所長
21	埼玉県	埼玉県警察本部科学捜査研究所銃器試射室	科学捜査研究所長
22	千葉県	警察庁科学警察研究所試射実験室	科学警察研究所長
23		千葉県警察本部科学捜査研究所試射場	科学捜査研究所長
24	神奈川県	防衛大学校	防衛大学校長
25		神奈川県警察本部科学捜査研究所射場	科学捜査研究所長
26	新潟県	新潟県警察本部科学捜査研究所銃器室	科学捜査研究所長
27	長野県	長野県警察本部科学捜査研究所火災実験室	科学捜査研究所長
28	静岡県	静岡県警察本部科学捜査研究所試射室	科学捜査研究所長
29		日邦工業(株)	
30	富山県	富山県警察本部科学捜査研究所試射室、試射準備室	科学捜査研究所長
31	石川県	石川県警察本部科学捜査研究所物理実験室	科学捜査研究所長
32	福井県	福井県警察本部科学捜査研究所銃器試射室	科学捜査研究所長
33	岐阜県	岐阜県警察本部科学捜査研究所けん銃試射室	科学捜査研究所長
34		日本油脂(株)神岡試験場	
35	愛知県	愛知県警察本部科学捜査研究所拳銃試射室、弾道室	科学捜査研究所長
36		旭精機工業(株)発射試験場	
37	三重県	三重県警察本部科学捜査研究所銃器鑑定室	科学捜査研究所長
38	滋賀県	滋賀県警察本部科学捜査研究所銃器検査室	科学捜査研究所長
39		東レ(株)瀬田工場機能産業資材開発センター	
40		東洋紡(株)総合研究所	
41		旭化成ケミカルズ(株)大分工場あいばの試験所	
42	京都府	京都府警察本部科学捜査研究所試射室	科学捜査研究所長
43	大阪府	大阪府警察本部科学捜査研究所弾道鑑定室	科学捜査研究所長
44	兵庫県	兵庫県警察本部科学捜査研究所銃器鑑定室	科学捜査研究所長
45	奈良県	奈良県警察本部科学捜査研究所銃器試射室	科学捜査研究所長
46	和歌山県	和歌山県警察本部科学捜査研究所銃器試射室	科学捜査研究所長
47	鳥取県	鳥取県警察本部科学捜査研究所銃器実験室	科学捜査研究所長
48	島根県	島根県警察本部警務課銃器試射室	警務課長
49	岡山県	岡山県警察本部科学捜査研究所試射室	科学捜査研究所長
50	広島県	広島県警察本部科学捜査研究所銃器試射室	科学捜査研究所長
51		中国火薬(株)江田島工場	
52		ダイセル化学工場(株)播磨工場	
53	山口県	山口県警察本部科学捜査研究所弾速測定室	科学捜査研究所長
54	徳島県	徳島県警察本部科学捜査研究所試射室	科学捜査研究所長
55	香川県	香川県警察本部科学捜査研究所銃器実験室	科学捜査研究所長
56	愛媛県	愛媛県警察本部科学捜査研究所試射室	科学捜査研究所長
57	高知県	高知県警察本部科学捜査研究所銃器試射室	科学捜査研究所長

58	福岡県	福岡県警察本部科学捜査研究所機械試験室	科学捜査研究所長
59	佐賀県	佐賀県警察本部科学捜査研究所銃器検査室	科学捜査研究所長
60	熊本県	熊本県警察本部科学捜査研究所銃器資料室	科学捜査研究所長
61	大分県	大分県警察本部科学捜査研究所試射室	科学捜査研究所長
62		旭化成ケミカルズ㈱大分工場	
63	宮崎県	宮崎県警察本部科学捜査研究所銃器検査室	科学捜査研究所長
64	鹿児島県	鹿児島県警察本部科学捜査研究所試射室	科学捜査研究所長
65	沖縄県	沖縄県警察本部科学捜査研究所銃器試射室	科学捜査研究所長

別表第九 鉛に係る土壤環境基準を超える測定値が認められたものと承知している都道府県営射撃場における汚染土壤対策の実施状況等について

都道府県営射撃場名	汚染土壤対策等	費用	今後の汚染防止対策等
埼玉県長瀨総合射撃場 (埼玉県秩父郡長瀨町)	汚染土壤の掘削除去等を実施し、汚染が判明した施設の運用を中止している。	約4億円	鉛製散弾以外の散弾を使用して施設の運用を再開する可能性について検討している。
富山県福光射撃場(富山県西砺波郡福光町)	汚染土壤の掘削除去を実施し、一時、射撃場の運用を中止した。	約1億4000万円	鉛弾の回収を実施できる一部施設についてのみ運用を再開している。
福井県立クレ射撃場(福井県勝山市)	汚染土壤の掘削除去等を実施し、射撃場の運用を中止している。	約1億7000万円	射撃場の運用を再開する可能性について検討している。
福岡県立総合射撃場(福岡県筑紫野市)	汚染土壤の掘削除去等を実施した。	約9億円	現在行っている鉛弾の回収等を引き続き実施する。

別表第十 鉛に係る土壌環境基準を超える測定値が認められたものと承知している都道府県営射撃場以外の射撃場等における汚染土壌対策の実施状況等について

射撃場名	汚染土壌対策等	費用	今後の汚染防止対策等
警察学校射撃場跡地 (岐阜県岐阜市)	汚染土壌の掘削除去等を実施した。	約5000万円	射撃場として使用していない。
多治見市射撃場(岐阜県多治見市)	汚染土壌の浄化対策等を実施し、射撃場の運用を中止している。	約1億6000万円	左記対策等を実施している。
兵庫県警射撃場跡地 (兵庫県神戸市)	汚染土壌の掘削除去等を実施した。	約1億1000万円	射撃場として使用していない。
自衛隊桜谷射撃場(福岡県筑紫野市)	汚染土壌の掘削除去等を実施した。	約3億3000万円	現在行っている鉛弾の回収等を引き続き実施する。

別表第十一 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づく共済事業

1 共済事業特別会計収支（平成11年度～平成15年度）

単位：千円

区 分	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
収入の部					
会 費	290,479	283,355	272,295	264,826	259,755
特定預金取崩収入	160,000	120,000	220,000	280,000	770,000
責任準備金取崩収入	0	0	0	0	300,000
事業積立金取崩収入	160,000	120,000	220,000	280,000	470,000
支払備金戻入収入	264,968	223,619	146,080	104,479	98,466
合 計	715,447	626,974	638,375	649,305	1,128,222
支出の部					
事業費	555,447	506,974	418,375	369,305	358,222
共済金支払	171,828	110,894	133,896	90,839	101,762
支払備金繰入	223,619	146,080	104,479	98,466	86,459
事業積立金繰入	160,000	250,000	180,000	180,000	170,000
一般会計繰入金支出	160,000	120,000	220,000	280,000	470,000
事業積立金繰入					300,000
合 計	715,447	626,974	638,375	649,305	1,128,222
収支差額	0	0	0	0	0

注) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。



2 貸借対照表及び正味財産増減計算書（平成11年度～平成15年度）

平成11年度貸借対照表

単位：円

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現 金	21,882	
普通預金	43,596,941	
仮払金	40,000,000	
流動資産合計		83,618,823
2 固定資産		
定期預金	140,000,000	
事業積立金	400,000,000	
責任準備金	1,000,000,000	
固定資産合計		1,540,000,000
資産合計		1,623,618,823
II 負債の部		
1 流動負債		
支払備金	223,618,823	
流動負債合計		223,618,823
負債合計		223,618,823
III 正味財産の部		
正味財産		1,400,000,000
負債及び正味財産合計		1,623,618,823

平成11年度正味財産増減計算書

単位：円

科 目	金 額	
I 増加の部		
1 資産増加額		
事業積立預金	160,000,000	160,000,000
増加額		
増加額合計		160,000,000
II 減少の部		
1 資産減少額		
事業積立預金	160,000,000	160,000,000
取崩額		
減少額合計		160,000,000
当期正味財産増加又は減少額		0
前期繰越正味財産額		1,400,000,000
期末正味財産合計		1,400,000,000

平成12年度貸借対照表

単位：円

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	41,283		
普通預金	11,038,934		
未収金	75,000,000		
定期預金	60,000,000		
事業積立金	530,000,000		
責任準備金	620,000,000		
流動資産合計		1,296,080,217	
2 固定資産			
責任準備金	380,000,000		
固定資産合計		380,000,000	
資産合計			1,676,080,217
II 負債の部			
1 流動負債			
支払備金	146,080,217		
流動負債合計		146,080,217	
負債合計			146,080,217
III 正味財産の部			
正味財産			1,530,000,000
負債及び正味財産合計			1,676,080,217

平成12年度正味財産増減計算書

単位：円

科 目	金 額		
I 増加の部			
1 資産増加額			
事業積立預金	250,000,000	250,000,000	
増加額			
増加額合計			250,000,000
II 減少の部			
1 資産減少額			
事業積立預金	120,000,000	120,000,000	
取崩額			
減少額合計			120,000,000
当期正味財産増加又は減少額			130,000,000
前期繰越正味財産額			1,400,000,000
期末正味財産合計			1,530,000,000

平成13年度貸借対照表

単位：円

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現 金	2,213	
普 通 預 金	54,476,894	
未 収 金	50,000,000	
事業積立金	490,000,000	
責任準備金	480,000,000	
流動資産合計		1,074,479,107
2 固定資産		
責任準備金	520,000,000	
固定資産合計		520,000,000
資産合計		1,594,479,107
II 負債の部		
1 流動負債		
支払備金	104,479,107	
流動負債合計		104,479,107
負債合計		104,479,107
III 正味財産の部		
正味財産		1,490,000,000
負債及び正味財産合計		1,594,479,107

平成13年度正味財産増減計算書

単位：円

科 目	金 額	
I 増加の部		
1 資産増加額		
事業積立預金	180,000,000	180,000,000
増加額		
増加額合計		180,000,000
II 減少の部		
1 資産減少額		
事業積立預金	220,000,000	220,000,000
取崩額		
減少額合計		220,000,000
当期正味財産増加又は減少額		△ 40,000,000
前期繰越正味財産額		1,530,000,000
期末正味財産合計		1,490,000,000

平成14年度貸借対照表

単位：円

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	29,643		
普 通 預 金	98,436,794		
未 収 金	20,000,000		
事業積立金	370,000,000		
責任準備金	200,000,000		
流動資産合計		688,466,437	
2 固定資産			
責任準備金	800,000,000		
固定資産合計		800,000,000	
資産合計			1,488,466,437
II 負債の部			
1 流動負債			
支払備金	98,466,437		
流動負債合計		98,466,437	
負債合計			98,466,437
III 正味財産の部			
正味財産			1,390,000,000
負債及び正味財産合計			1,488,466,437

平成14年度正味財産増減計算書

単位：円

科 目	金 額		
I 増加の部			
1 資産増加額			
事業積立預金	180,000,000	180,000,000	
増加額			
増加額合計			180,000,000
II 減少の部			
1 資産減少額			
事業積立預金	280,000,000	280,000,000	
取崩額			
減少額合計			280,000,000
当期正味財産増加又は減少額			△100,000,000
前期繰越正味財産額			1,490,000,000
期末正味財産合計			1,390,000,000

平成15年度貸借対照表

単位：円

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現 金	30,783	
普通預金	86,428,529	
流動資産合計		86,459,312
2 固定資産		
事業積立金	390,000,000	
責任準備金	700,000,000	
固定資産合計		1,090,000,000
資産合計		1,176,459,312
II 負債の部		
1 流動負債		
支払備金	86,459,312	
流動負債合計		86,459,312
負債合計		86,459,312
III 正味財産の部		
正味財産		1,090,000,000
負債及び正味財産合計		1,176,459,312

平成15年度正味財産増減計算書

単位：円

科 目	金 額	
I 増加の部		
1 資産増加額		
事業積立預金増加額	470,000,000	470,000,000
増加額合計		470,000,000
II 減少の部		
1 資産減少額		
責任準備金取崩額	300,000,000	
事業積立預金取崩額	470,000,000	770,000,000
減少額合計		770,000,000
当期正味財産増加又は減少額		△300,000,000
前期繰越正味財産額		1,390,000,000
期末正味財産合計		1,090,000,000

別表第十二 散弾、ライフル弾及び空気銃弾の輸出入量及び主な輸出入先

対象品	期 間	輸 出 量(kg)	輸 入 量(kg)	主な輸出入先
散 弾	平成11年度	0	2,287,655	(輸出)フィンランド、 スペイン (輸入)イタリア、オ ーストラリア、ス 페인、英国
	平成12年度	0	2,271,494	
	平成13年度	104,720	2,011,492	
	平成14年度	173	1,981,778	
	平成15年度	0	2,170,775	
ライフル弾	平成11年度	0	156,670	(輸出)－ (輸入)米国、フィン ランド、オースト ラリア、英国
	平成12年度	0	140,649	
	平成13年度	0	101,888	
	平成14年度	0	63,059	
	平成15年度	0	61,582	
空気銃弾	平成11年度	585	153,559	(輸出)米国 (輸入)フランス、オ ーストラリア、米 国
	平成12年度	2,295	164,912	
	平成13年度	2,292	161,614	
	平成14年度	5,022	199,109	
	平成15年度	6,834	219,846	

注1) 財務省作成の日本貿易統計による。

2) 統計上、「鉛を含むもの」と「鉛を含まないもの」とを区分していない。

別表第十三 鉛を含まない散弾及びライフル弾の輸出入量及び主な輸出入先

対象品	期 間	輸 出 量 (千個)	輸 入 量 (千個)	主 な 輸 出 入 先
散 弾	平成 1 1 年度	0	24	(輸出)ー
	平成 1 2 年度	0	94	(輸入)英国、米国、 オーストラリア
	平成 1 3 年度	0	138	
	平成 1 4 年度	0	32	
	平成 1 5 年度	0	26	
ライフル弾	平成 1 1 年度	0	147	(輸出)ー
	平成 1 2 年度	0	179	(輸入)オーストラリ ア、米国、スウェ ーデン
	平成 1 3 年度	0	649	
	平成 1 4 年度	0	39	
	平成 1 5 年度	0	60	

注 1) 社団法人日本猟用資材工業会の集計による。

2) 散弾の重量は1個当たり約40g。ライフル弾の重量は1個当たり約30g。

3) 空気銃弾の集計は行われていない。

別表第十四 散弾、ライフル弾及び空気銃弾の製造量及び製造場所（都道府県名）

対象品	品目名称	期 間	生産量(千個)	製造場所(都道府県名)
散 弾 ライフル弾	猟銃用実包	平成11年度	25,759	茨城県、静岡県、群馬 県
	猟銃用実包	平成12年度	24,659	
	猟銃用実包	平成13年度	24,293	
	猟銃用実包	平成14年度	24,101	
	猟銃用実包	平成15年度	24,273	
空気銃弾		平成11年度	7,500	大阪府
		平成12年度	6,600	
		平成13年度	5,500	
		平成14年度	8,000	
		平成15年度	10,500	

注1) 散弾及びライフル弾については経済産業省作成の機械統計による。ただし、製造場所は社団法人日本猟用資材工業会の調査による。空気銃弾については社団法人日本猟用資材工業会の集計による。

2) 統計上、「鉛を含むもの」と「鉛を含まないもの」とを区分していない。



別表第十五 鉛を含まない散弾及びライフル弾の製造量及び製造場所（都道府県名）

対象品	期 間	生産量(千個)	製造場所（都道府県名）
散 弾	平成11年度	104	茨城県、静岡県、群馬県
	平成12年度	88	
	平成13年度	230	
	平成14年度	47	
	平成15年度	27	
ライフル弾	平成11年度	0	茨城県
	平成12年度	0	
	平成13年度	0	
	平成14年度	3	
	平成15年度	130	

注1) 社団法人日本猟用資材工業会の集計による。

2) 空気銃弾の集計は行われていない。

別表第十六 けん銃弾の輸出入量及び主な輸出入先

1 輸入量及び主な輸入先

対象品	期 間	輸入量(千個)	主な輸入先
鉛を含むもの	平成11年度	1,234	ドイツ、米国、英国
	平成12年度	1,586	
	平成13年度	2,761	
	平成14年度	4,084	
	平成15年度	5,498	
鉛を含まないもの	平成11年度	206	カナダ、ドイツ
	平成12年度	268	
	平成13年度	267	
	平成14年度	8	
	平成15年度	108	

注) 警察庁及び海上保安庁に関する輸入量及び主な輸入先。

2 輸出量及び主な輸出先

実績なし

別表第十七 けん銃弾の製造量及び製造場所（都道府県名）

対象品	期 間	生産量(千個)	製造場所（都道府県名）
鉛を含むもの	平成11年度	7,963	東京都
	平成12年度	5,881	
	平成13年度	10,635	
	平成14年度	8,781	
	平成15年度	8,980	

注) 1) 警察庁製造分。

2) 鉛を含まないものは製造していない。

